実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2025年度　　美容師学科

	授業科目	授業時間数	内）実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	衛生管理	90	30	歯科医師免許取得　歯科医院開院、勤務 歯科医師経験36年	
			30	美容師免許取得、美容実務経験	
			30	歯科医師免許取得　歯科医院勤務 歯科医師経験34年	
2	保健	90	50	歯科医師免許取得　歯科医院勤務 歯科医師経験34年	
			40	歯科医師免許取得　歯科医院開院、勤務 歯科医師経験36年	
4	文化論	60	20	美容師免許取得、美容実務経験	
			40	美容師免許取得、美容実務経験	
5	美容技術理論	150	150	美容師免許取得、美容実務経験	
6	運営管理	30	20	労務管理事務所を経営。経営管理、人的資源管理、マーケティング等幅広い知識を有す。	
			10	美容師免許取得、美容実務経験	
7	美容実習	900	900	美容師免許取得、美容実務経験	
8	トータルビューティー	150	150	美容師免許取得、美容実務経験	
9	デッサン	30	30	日本理容美容教育センター　インストラクター24年	
11	受験対策実技	150	150	美容師免許取得、美容実務経験	
	実務経験のある教員等による授業科目合計時間数		1650		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2025年度　ビューティスタイリスト学科
（エステティックコース）

	授業科目	授業時間数	内）実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	ウエルネス論Ⅰ	90	40	エステシャンとして、エステサロン勤務や、専門学校の教員 経験30年のほか、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、ソシオエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する。	
			50	エステシャンとして、エステサロン勤務や、インストラクターとしての講師経験20年のほか、CIDESCOインターナショナルエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する。	
2	ウエルネス論Ⅱ	90	90		
3	インナービューティー関係論Ⅰ	70	70	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験 がある。また、認定エステティシャンも有する。	
4	インナービューティー関係論Ⅱ	60	60	エステシャンとして、エステサロン勤務や、イ ンストラクターとしての講師経験20年のほ か、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、AJESTTE認定講師を有する。	
5	ビューティービジネス理論Ⅰ	50	50	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験 がある。また、認定エステティシャンも有する。	
6	ビューティービジネス理論Ⅱ	40	40	エステシャンとして、エステサロン勤務や、イ ンストラクターとしての講師経験20年のほ か、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、AJESTTE認定講師を有する。	
7	ボディエステティック理論	20	20	エステシャンとして、エステサロン勤務や、専門学校の教員 経験30年のほか、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、ソシオエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する。	
8	シデスコ理論	70	70	エステシャンとして、エステサロン勤務や、イ ンストラクターとしての講師経験20年のほ か、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、AJESTTE認定講師を有する。	
9	メイクアップ技術理論Ⅰ	30	30	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも 従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
10	ネイル技術理論	20	20	美容師免許取得、美容実務経験	
11	アロマテラピーⅠ	30	30	エステティックサロン及び化粧品販売に従 事。アロマセラピストおよび認定エステティ シャンも有する。エステティシャン歴15年。ン歴15年。アロマインストラクター歴10年。	
12	アロマテラピーⅡ	30	30		
13	フェイシャルエステティックⅠ	110	110	エステシャンとして、エステサロン勤務や、専門学校の教員 経験30年のほか、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、ソシオエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する。	

14	フェイシャルエステティックⅡ	150	150	エステシャンとして、エステサロン勤務や、イ ンストラクターとしての講師経験20年のほ か、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、AJESTTE認定講師を有する。	
15	ボディエステティックⅠ	90	90	エステシャンとして、エステサロン勤務や、専門学校の教員 経験30年のほか、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、ソシオエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する。	
16	ボディエステティックⅡ	150	150	エステシャンとして、エステサロン勤務や、イ ンストラクターとしての講師経験20年のほ か、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、AJESTTE認定講師を有する。	
17	脱毛Ⅰ	40	40		
18	脱毛Ⅱ	40	40		
19	ベーシックメイクアップ	60	60	美容師免許取得、美容実務経験	
20	ベーシックネイル	60	60	美容師免許取得、美容実務経験	
21	トータルエステティックⅠ	200	110	エステシャンとして、エステサロン勤務や、イ ンストラクターとしての講師経験20年のほ か、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、AJESTTE認定講師を有する。	
			10	エステシャンとして、エステサロン勤務や、専門学校の教員 経験30年のほか、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、ソシオエステティシャン、AJESTTE認定講師を有する。	
			20	エステティックサロン及び化粧品販売に従 事。アロマセラピストおよび認定エステティ シャンも有する。エステティシャン歴15年。ン歴15年。アロマインストラクター歴10年。	
			40	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも 従事していた。また、認定メイクセラピープロデューサーを有する。	
			20	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験 がある。また、認定エステティシャンも有する。	
21	トータルエステティックⅡ	200	200	エステシャンとして、エステサロン勤務や、イ ンストラクターとしての講師経験20年のほ か、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、AJESTTE認定講師を有する。	
	実務経験のある教員等による授業科目合計時間数		1700		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

2025年度　ビューティスタイリスト学科
（ウェディングコース）

	授業科目	授業時間数	内）実務経験教員等による授業時間数	授業科目に対する実務経験	備考
1	ウェディングプランナー論	135	135	ウェディングプランナー実務経験27年のほかIWPAプロフェッショナルウェディングプランナー、職業技能振興会認定ウェディングプランナー1級、きもの文化検定3級、米国IFDA NY認定WPPの資格も有する。	
2	ブライダルマーケティング	30	30		
3	レストランサービス実務	105	105	ホテル、レストランでの実務経験7年。、国家 検定レストランサービス技能検定3級を取 得。ホテル、レストランの豊富な実務経験を 活かし、専門知識とおもてなしとその実務に 関する教育にあたる。	
4	ドレスコーディネーター論	30	30	ウェディングプランナー実務経験20年のほかBIAブライダルコーディネーター、東京商工会議所2級カラーコーディネーター、A･F･T1級色彩コーディネーター、小笠原流礼法準師範、マナー＆プロトコール検定準1級、サーティファイ上級WEBクリエーター、の資格も有する。	
5	メイクアップ技術理論Ⅰ	30	30	ブライダル業界で7年勤務し、メイク業務にも従事 していた。また、認定メイクセラピープロデュー サーを有する。	
6	ネイル技術理論	20	20	美容師免許取得、美容実務経験	
7	フェイシャルエステティック理論	20	20	エステティシャンとしてエステサロン勤務経験がある。また、認定エステティシャンも有する。	
8	ブライダルゼミ	90	90	ブライダル業界で23年勤務のほかBIAブライダルコーディネーター、東京商工会議所2級カラーコーディネーター、A･F･T1級色彩コーディネーター、小笠原流礼法準師範、マナー＆プロトコール検定準1級、サーティファイ上級WEBクリエーター、の資格も有する。	
9	コンピューターサービス	90	90	パソコンインストラクター歴20年以上。個人 でパソコン教室も運営、企業におけるセミ ナーの講師などもおこなっている。	
10	キャリアデザイン	30	30	広報業務に13年従事。 学校イベントの企画・立案・制作・運営に携わる。映像制作スタッフとしての経験も有する。	
11	ウエディング実習	180	20	ブライダル業界で7年勤務のほかブライダルコーディネーター技能士3級、WBJ認定ウェディングコーディネーター、WBJ認定ドレスコーディネーター、3級レストランサービス技能士、ホテルビジネス実務検定2級、秘書技能検定2級を有する。	
			80	ブライダル業界で22年勤務のほかブライダルプロデューサーチーフ級、ブライダルプロデューサーマスター級の資格も有する。	
			80	ブライダル業界で8年勤務。フリーランスプランナーとしてプロデュース業を展開している。	

12	レストランサービス実習	120	120	ホテル、レストランでの実務経験7年。、国家 検定レストランサービス技能検定3級を取 得。ホテル、レストランの豊富な実務経験を 活かし、専門知識とおもてなしとその実務に 関する教育にあたる。	
13	ブライダルファッション	180	180	ブライダル業界で26年勤務のほか、シュウウエムラメイクアップスクール修了、きもの知識検定、美容師免許を有する。	
14	ブライダルビューティー	210	30	美容師免許取得、美容実務経験	
			30	美容師免許取得、美容実務経験	
			150	ブライダル業界で26年勤務のほか、シュウウエムラメイクアップスクール修了、きもの知識検定、美容師免許を有する。	
15	ベーシックメイクアップ	60	60	美容師免許取得、美容実務経験	
16	ベーシックネイル	60	60	美容師免許取得、美容実務経験	
17	フェイシャルエステティック	40	40	エステシャンとして、エステサロン勤務や、専門学校の教員経験30 年のほか、CIDESCOインターナショナルエステティシャン、ソシオエス テティシャン、AJESTTE認定講師を有する。	
18	インターンシップ	120	120	エステシャンとして、エステサロン勤務や、イ ンストラクターとしての講師経験20年のほ か、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、AJESTTE認定講師を有する。	
19	トータルコーディネート	150	150	エステシャンとして、エステサロン勤務や、イ ンストラクターとしての講師経験20年のほ か、CIDESCOインターナショナルエステティ シャン、AJESTTE認定講師を有する。	
	実務経験のある教員等による 授業科目合計時間数		1700		

教課指導案(シラバス)

校長	副校長	課長	担当教員

令和 7 年度 1 年生	科　目	授業方法	授業時数
	美容技術理論	講義	90 時間

配当時間	1 コマ 90 分　前期 25 コマ・後期 24 コマ	担当授業時数	98 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許・美容実務経験 14 年
学習の目的	技術の習得には美容の基礎的な理論と技術を学ばなければならない。それぞれの理論と動作を並行して履修を目指す。「なぜそうしなければならないのか」を理解する。		
指導目標	期末試験合格を目指す 美容の技術と心をお客様に提供できる美容師になってほしい		
指導の要点及び留意点	パワーポイントにて授業を行う プリントのチェックを行う 確認テストを行う		
評価の方法	中間試験 60 点以上、期末試験 60 点以上で合格		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価　（前期 23 コマ）

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容技術理論 1 美容実習 1	序章	1 美容理論と美容技術 2 作業姿勢 3 人体各部の名称 板書・確認テスト	
2	美容技術理論 1 美容実習 1	1 章　美容用具	1 用具 2 コーム 3 ブラシ	
3	美容技術理論 1 美容実習 1		4 シザーズ 5 レザー	
4			6 ピン類、ヘアクリップ 7 ロッド	
5	美容技術理論 1 美容実習 1		8 ローラー 9 ヘアアイロン 10 ヘアドライヤー	
6	美容技術理論 1 美容実習 1		11 ヘアスチーマー 12 遠赤外線機	
7	美容技術理論 1 美容実習 1	2 章　シャンプーイング	1 シャンプーイング総論	
8	美容技術理論 1 美容実習 1		2 サイドシャンプー 3 バックシャンプー	
9	美容技術理論 1 美容実習 1		4 リンス・コンディショナー ・トリートメント	

10	美容技術理論 1 美容実習 1		5 スキャルプトリートメント 6 ヘッドスパ	
11	美容技術理論 1		まとめ　　板書・確認テスト	
12	美容技術理論 1	中間試験		
13	美容技術理論 1 美容実習 1	3 章　ヘアデザイン	1 美容とデザイン ①錯覚現象 ②デザインの要素	
14	美容技術理論 1 美容実習 1		③デザインの原理 板書・確認テスト	
15	美容技術理論 1 美容実習 1	4 章　ヘアカッティング	1 ヘアカッティングとは 2 シザーズとレザーの扱い方	
16	美容技術理論 1		3 美容刃物	
17	美容技術理論 1 美容実習 1		4 ヘアカッティングの正しい姿勢 5 ブロッキング	
18	美容技術理論 1 美容実習 1		6 ヘアカッティングの基礎理論	
19	美容技術理論 1 美容実習 1		7 ベーシックなカット技法 8 シザーズによるカット技法	
20	美容技術理論 1 美容実習 1		9 レザーによるカット技法 板書・確認テスト	
21	美容技術理論 1 美容実習 1	5 章　パーマネントウエービング	1 パーマネントウエーブの歴史と現在 2 パーマネントウエーブの理論	
22	美容技術理論 1 美容実習 1		3 パーマ剤の分類 4 パーマ剤に関する注意事項	
23	美容技術理論 1 美容実習 1		5 パーマネントウエーブ技術 6 縮毛矯正	
24	美容技術理論 1		まとめ　　板書・確認テスト	
25	美容技術理論 1	期末試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価　（後期 24 コマ）

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容技術理論 1 美容実習 1	6 章　ヘアセッティング	試験解答解説 1 ヘアセッティングとは	
2	美容技術理論 1 美容実習 1		2 ヘアパーティング 3 ヘアシェーピング	
3	美容技術理論 1 美容実習 1		4 ヘアカーリング ①カールの各部の名称 ②カールの分類	
4	美容技術理論 1 美容実習 1		③ベースをつくる ④ステムの方向と角度 ⑤テンション	

5	美容技術理論 1 美容実習 1		⑥ループの大きさ ⑦カールピニング ⑧ピンカール別のカールピニング ⑨～⑩各カール技術	
6	美容技術理論 1 美容実習 1		5 ヘアウエービング	
7	美容技術理論 1 美容実習 1		6 ローラーカーリング 7 ブロードライ	
8	美容技術理論 1 美容実習 1		8 アイロンセッティング	
9	美容技術理論 1 美容実習 1		9 バックコーミング 10 アップスタイル	
10	美容技術理論 1 美容実習 1		11 ウイッグとヘアピース 12 ヘアセッティングの応用	
11	美容技術理論 1		まとめ　　板書・確認テスト	
12	美容技術理論 1	中間試験		
13	美容技術理論 1 美容実習 1	7 章　ヘアカラーリング	1 ヘアカラーリング概論 2 ヘアカラーの種類 3 ヘアカラーのタイプ別特徴 4 染毛のメカニズム	
14	美容技術理論 1 美容実習 1		5 色の基本 6 毛髪のレベルとアンダートーン	
15	美容技術理論 1 美容実習 1		7 パッチテスト 8 染毛剤使用時の注意事項	
16	美容技術理論 1 美容実習 1		9 ヘアカラーリングの道具 10 酸化染毛剤の技術手順	
17	美容技術理論 1 美容実習 1		11 酸性染毛料の技術手順 確認テスト	
18	美容技術理論 2 美容実習 2	8 章　エステティック	1 エステティック概論 2 皮膚の生理と構造	
19	美容技術理論 2 美容実習 2		3 カウンセリング 4 美容におけるマッサージ理論	
20	美容技術理論 2 美容実習 2		5 フェイシャルケア技術 6 フェイシャル及びデコルテマッサージ	
21	美容技術理論 2 美容実習 2		7 フェイシャルパック	
22	美容技術理論 2 美容実習 2		8 ボディケア技術 9 ボディマッサージ	
23	美容技術理論 2		まとめ　　板書・確認テスト	
24	美容技術理論 2	期末試験		

課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	授業時数
	美容技術理論	講義	60 時間

配当時間	１コマ 90 分　前期 15 コマ・後期 17 コマ	担当授業時数	30 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験７年
学習の目的	・第 10 章から第 12 章までの美容の基礎的な理論の習得。 ・実習とのリンクにより、理解を深める。		
指導目標	・国家試験合格基準の知識の習得。 ・美容師としての知識の習得。		
指導の要点及び留意点	・ポイントを明確にし、理論に基づく知識を理解させる。 ・問題を理解できる能力をつけさせる。		
評価の方法	・授業における態度及び定期試験など。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書 プリント DVD	10 章メイクアップ １．メイクアップ概論 ２．顔の形態学的な観察 メイクアップ	顔の骨格と筋肉 顔の立体研究	
2		３．メイクアップと色彩 ４．皮膚の生理と構造 ５．メイクアップの道具	色の三属性 皮膚の生理と構造 メイクアップの道具の種類、効果	
3		６．スキンケア ７．ベースメイクアップ	クレンジング・トーニング プロテクティング	
4			ファンデーションの種類と特徴 ファンデーションの塗り方 ハイライト・ローライト カバーホワイト アクセントカラー	
5		８．アイメイクアップ	３つの要素 アイラインのテクニック アイシャドーのテクニック アイラッシュカール・マスカラ	
6		９．アイブロウメイクアップ １０．リップメイクアップ １１．ブラッシュオンメイクアップ	眉の整え方 ドローイング シェーディングの種類、特徴	
7		１２．まつ毛エクステンション	まつ毛エクステンションの衛生、及び保健	

			消毒、、目及び周辺について	
8	中間試験			
9		11 章日本髪 1 日本髪の由来 2 日本髪の各部名称 3 日本髪の種類と特徴		
10		4 日本髪と調和 5 日本髪の装飾品 6 日本髪の結髪道具	粋な髪・上品な髪 顔の形と髪型	
11		7 日本髪の結髪技術 8 日本髪の手入れ 9 かつら		
12		12 章着付けの理論と技術 1 着付けの目的 2 礼装 3 着物と季節	女子の礼装・男子の礼装	
13		4 着物のいろいろ 5 帯	順礼装・おしゃれ着・ その他	
14		6 小物 7 着物各部の名称 8 着物のたたみ方		
15		9 着付け一般的要領 10 着付けの技術 17 和装の花嫁 18 洋装の花嫁	留袖・振袖・	

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書 プリント	卒業見込み対策	1 章～4 章	
2	教科書 プリント	〃	5 章～8 章	
3	教科書 プリント	〃	9 章～12 章	
4	教科書 プリント	国家試験対策	模擬テスト 実践問題と解説	
5	教科書 プリント	〃	過去問題などを使用し問題と解説 1 章～単元ごとに理解を深める	
6	教科書 プリント	〃	〃	

7	教科書 プリント	国家試験予想問題〃	〃	
8	教科書 プリント	〃	〃	
9	教科書 プリント	〃	〃	
10	教科書 プリント	〃	〃	
11	教科書 プリント	〃	過去問題を実践形式にマークシートを使用し回答、解説	
12	教科書 プリント	〃	〃	
13	教科書 プリント	国家試験予想問題	弱点強化及び一度実施した問題を再度確認。	
14	教科書 プリント	〃	弱点強化及び一度実施した問題を再度確認。	
15	教科書 プリント	〃	弱点強化及び一度実施した問題を再度確認。	
16	教科書 プリント	〃	弱点強化及び一度実施した問題を再度確認。	
17	教科書 プリント	〃	弱点強化及び一度実施した問題を再度確認。	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ヘアスタイリストコース カット	実習	120 時間

配当時間	１コマ 90 分　32 コマ	担当授業時数	64 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・美容師経験４年

学習の目的	正しい姿勢、シザーワークやコームワークを理解する ワンレングス、レイヤー、グラデーションなどのカット理論理解し覚える シザーワークだけでなく、セニング、バリカン、ブローテクニックまで取得する
指導目標	ワンレングス・レイヤー・グラデーションをしっかりと理解し、カットをする 基本スタイルを組み合わせて、１つのスタイルをつくりあげる 正しい姿勢、正しい道具の使い方をマスターする
指導の要点及び留意点	正しい姿勢、正しい道具の使い方ができているか スタイル別に切り方の違いを明確に理解し、切れているか １つのスタイルを最後まで完成させること
評価の方法	授業態度 忘れ物がないか（ウィッグなど） ウィッグの仕上がり

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	ＮＯ.1～7 ウィッグ 名前ペン	ウィッグや教材の配布、コース授業について	ウィッグなどの教材を配布し、ナンバリングや名前記入。コース授業について学習目標など説明	授業態度
2	ＮＯ.1 新品ウィッグ カット道具	ワンレングスにカット （長め）	ワンレングスにカットし、正しい姿勢、道具の使い方を覚える	仕上がり 授業態度
3	ＮＯ.1 ウィッグ カット道具	ワンレングスにカット ブロー説明	前回の復習をしながらワンレングスにカットする ブロー仕上げ	同上
4				
5	ＮＯ.1 ウィッグ カット道具	前下がりワンレングスにカット ブロー練習	正しい姿勢、正しい道具の使いかたを覚える。ブローまでして仕上げまで	同上
6		オーバーダイレクションの説明	オーバーダイレクションを理解する	

7 8	ＮＯ.2 新品ウィッグ カット道具	ワンレングスカット その後、前上がりワンレングスにカット。ブロー練習	正しい姿勢、正しい道具の使いかたを覚える。ブローして仕上げまで	同上
9 10	ＮＯ.2 ウィッグ カット道具	前上がりグラデーションにカット（横スライス）	グラデーションについて説明をし、 45 度のグラデーションを作っていく	同上
11 12	ＮＯ.3 新品ウィッグ カット道具	ワンレングスにカット その後、グラデーションを作る（横スライス）	横での切り方と縦の切り方を習得する	同上
13 14	ＮＯ.4 新品ウィッグ カット道具	レイヤーにカット。半頭ずつ進み、違い（軽さ）を見る	レイヤーについて説明をし、 グラデーションとレイヤーの違いを理解する	同上
15 16	ＮＯ.4 ウィッグ カット道具	前回の続き 仕上げまで。	レイヤースタイルを完成させる	同上
17 18	ＮＯ.4 ウィッグ カット道具	セイムレングスの説明 セイムレングスにカット	セイムレングスにカットする	同上
19 20	ＮＯ.4 ウィッグ カット道具	前回の続き。 セニングをしてセットまで行う。 ショートヘア（メンズ）のドライ方法を説明。	セイムレングス仕上げ。 セニングに入れ方とメンズのワックスの付け方を覚える。	同上

21 22	ＮＯ.4 ウィッグカット道具	バリカンでの刈上げ ベリーショートをつくる （ウィッグ 4 はワックスがついているのでまずはシャンプーして落とす）	バリカンを使用し使い方を理解する	同上
23 24	ＮＯ.1 ウィッグカット道具	シザーを使用し、刈り上げ 簡単なメンズスタイルをつくる	刈上げの時の姿勢やシザーワーク、コームワークを説明しカットする	同上
25 26	ＮＯ.2 ウィッグカット道具	メンズスタイルを切る	メンズスタイルを作る セイムレイヤー、刈上げ、セニングの技術を使いながら、アイロンでセットまでし、ワックスで仕上げる	同上
27 28	ＮＯ.5 新品ウィッグ	山田先生合同授業	山田先生のカット授業	同上
29 30	ＮＯ.6 新品ウィッグ	様々なカット、「レザー、ストロークカットなど	様々なカット技法を説明。	同上
31 32	ＮＯ.7 新品ウィッグ	レディースロングボブスタイルをつくる 切ったウィッグにセニングをいれる。レディースのセニングの入れ方まで説明	実際に切ったスタイルにセニングを入れる。レディースのセニングについて説明をし、実際に行う	同上

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	ヘアスタイリストコース パーマ	実習	120 時間

配当時間	１コマ 90 分　20 コマ	担当授業時数	40 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・実務経験 10 年
学習の目的	パーマ理論を学び、正しく薬剤を扱えるようになる 引き出す角度や巻き納めの位置がいかに仕上がりに響くか考える		
指導目標	さまざまなパーマ技法にチャレンジする 実際に薬剤に触れて、理論に基づいて正しく扱ってほしい		
指導の要点及び留意点	展示を行った後、技術チェックを行う。丁寧かつスムーズに セッティング状況のチェックを行う。作業スペースをいつもきれいに 実習では洗濯したタオルを５枚使用するので忘れないこと		
評価の方法	授業態度、技術チェック、仕上がりの確認		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1・2	美容技術理論１ 美容実習１ パーマの実際準備	講義 ワインディングのバリエーション展示・実習	パーマ理論 さまざまなワインディングをやってみる	
3・4	パーマの実際準備 パーマ用ウィッグ	ワンレングスカット スタッキング水巻き	カット後　スタッキングを水巻き 巻き込み位置注意	
5・6	〃	スタッキング パーマの実際	水巻きで練習した手順で時間内にスタッキングパーマをかける	
7・8	〃	スパイラル 水巻き	ブロッキングの幅、スライスの厚み 巻き込み角度に注意	
9・10	〃	スパイラル パーマの実際	水巻きで練習した手順で時間内に逆巻き、スパイラルをかける	
11・12	〃	カット マッシュスタイル ピン、ツイスト水巻き	カット後　ピン、ツイストパーマを水巻き	
13・14	〃	ピン、ツイストパーマの実際	水巻きで練習した手順で時間内にピン、ツイストパーマをかける	
15・16	〃	ストレートパーマの練習	スライスの厚みステムの角度に注意しながらアイロンの練習	
17・18	〃	ストレートパーマの実際	アイロンの温度、アイロンスルーのスピードに注意	
19・20	〃	ウルフスタイル	新しいウィッグをカットしてウルフスタイルを仕上げる	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	ヘアスタイリストコース カラー	講義及び実習	120 時間

配当時間	１コマ 90 分　カラー20 コマ	担当授業時数	40 時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・実務経験４年
学習の目的	カラーの知識、理論を学び、正しいカラーテクニックを身につける 毛髪診断、薬剤選定をできるようにする		
指導目標	カラー技術、知識を身につける 薬剤に触れ特徴などを理解し、安全に気を付け行う		
指導の要点及び留意点	安全への配慮 持ち物や机のセッティング状況のチェック、 仕上がりをイメージさせ塗らせる		
評価の方法	授業態度、技術チェック、レポートの提出状況		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価　（カラー）

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教材配布	教材配布 カラーセッティング	教材配布　名前記入机のセット。服装などのカラーをする上での注意点の説明	授業態度 仕上がり
2	カラー用具一式 筆記用具	リタッチ リハーサル	根元２ｃｍ塗布	同上
3	同上	根本、中間～毛先 アルカリ　トーンアップ	中間～毛先、根本 13N　OXY6％	同上
4	同上	リタッチ アルカリ　トーンダウン	ワンメイク ５サファイア　　OXY3％	同上
5	同上	ブリーチリタッチ 薄スラ１cm	根本２cm ブリーチ　OXY6％　　2.5 倍	同上
6	同上	中間～毛先 ブリーチ　薄スラ	中間～毛先 ブリーチ　　OXY6％　2.5 倍	同上
7	同上	片方だけもうワンブリーチ	片方　根元から ブリーチ　　OXY6％　2.5 倍	同上
8	同上	↑オンカラー （左右の差をたしかめる）	全頭カラー	同上

			８パープルガーネット　　OXY3％ 等倍	
9	同上	ホイルワーク	ハイライト パウダーブリーチ　OXY6％	同上
10	同上	酸性染毛料 ヘアマニキュア　根本 ゼロテク	根元（コームを使って） ヘアマニキュア（ストロベリーレット）	同上
11	同上	酸性染毛料 ヘアマニキュア　中間～毛先	中間～毛先（ハケを使って） ヘアマニキュア（ストロベリーレット）	同上
12	同上	ウィッグ１台　ブリーチ		同上
13	カラー用具一式 筆記用具	↑このブリーチの土台で お題を出す ワンメイク	このカラー剤でこの色にしてください	同上
14	同上		同上	同上
15	カラー用具一式 筆記用具	好きなデザイン ブリーチ必須 ↓カット	カラー剤を２つ選ばせる	同上
16	同上	↓アイロンスタイリング	同上	同上
17	同上	↓写真とる		同上
18	同上			同上
19	同上			同上
20	同上			同上

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	総授業時数
	ヘアスタイリストコース 作品制作・相モデル	実習	90 時間

配当時間	１コマ 90 分　26 コマ	担当授業時数	60 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・美容師経験４年
学習の目的	実践に近い技術を覚え、美容師としての基礎スキルを上げる 相モデルで、人頭に慣れるとともに、お客様の扱い方を理解させる		
指導目標	実践に近い授業をし、人頭へカラーをすることに慣れる 相モデルの髪質をしっかりと見てカウンセリングを出来るようにする		
指導の要点及び留意点	相モデルの相手をお客様として扱い、事故やトラブルのないよう気を引き締めさせる 取り組む姿勢。カラー材などの道具の使い方は正しいか		
評価の方法	相モデルでの仕上がり 授業態度		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1 2	実習道具 スタイリング道具 飾り メイク道具	フォトコン（人頭） デザイン案、練習	実際の人間モデルなので、その人の特徴、個性、自分の感性など色々な事を考えてつくり、コンテストで入賞を目指す	授業態度 仕上がり
3 4	同上	フォトコン（人頭） 制作、撮影	同上	同上
5 6	相モデルシート プリント 筆記用具 美論教科書	カラーについて、カウンセリングについて説明 相モデルカラー色決め （アルカリカラー剤）	カラー知識の復習 毛髪診断などを説明 カウンセリングの仕方を説明 カラーリング計画をたてさせる	授業態度
7 8	自分のフォトコン作品	高橋先生の授業で作った作品を撮影する（1 作品目）	自分が作ったものを作品に残し、カメラの知識や取り方なども勉強をし、美容師としてレベルアップをはかる	同上
9 10	相モデルシート 実習道具 カラー道具 シャンプー道具	相モデルカラー　１回目 （アルカリカラー） ２人１組（1 人目） 人頭のドライ練習	実際のカラー剤に慣れる。 塗布スピード、放置時間には十分気を付けさせ、塗布ムラやトラブルなど気を付ける	授業態度 仕上がり

11 12	同上	相モデルカラー　1 回目 （アルカリカラー） 2 人 1 組（2 人目）	同上	同上
13 14	パーマ道具 実習道具	相モデルパーマ練習 2 人 1 組（1 人目） （トリートメント水を使用）	実際に人頭にロッドを巻く。パーマの流れを理解すると共に、人頭に巻く難しさなどを知る	授業態度 仕上がり
15 16	同上	相モデルパーマ練習 2 人 1 組（2 人目） （トリートメント水を使用）	同上	同上
17 18	自分のフォトコン作品	高橋先生の授業で作った作品を撮影する（2 作品目）	1 回目で培った知識や技術を生かし、1 回目よりも より良い作品を撮る	同上
19 20	相モデルシート 実習道具 カラー道具 シャンプー道具	相モデルカラー　2 回目 （アルカリカラー） 2 人 1 組（1 人目） 人頭のドライ練習 時間があまればセットまでする	実際のカラー剤を使用 2 回目になるので､1 回目の反省点などを踏まえ、1 回目より綺麗に染める	授業態度 仕上がり
21 22	同上	相モデルカラー　2 回目 （アルカリカラー） 2 人 1 組（2 人目）	同上	同上
23 24	同上	ストレート相モデル実習 2 人 1 組（1 人目） トリートメント	人頭に塗る感覚を養う。ストレートの流れを理解すると共に塗布スピード、塗布ムラなど気を付ける アイロンまで入れることで実際のストレートの流れにより近づける	授業態度 仕上がり
25 26	同上	ストレート相モデル実習 2 人 1 組（2 人目） トリートメント	同上	同上

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	授業時数
	ヘアスタイリストコース 作品制作	講義及び実習	90 時間

配当時間	１コマ 90 分　16 コマ	担当授業時数	32 時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　無	実務経験概要	美容師免許・実務経験 14 年
学習の目的	コンテストに挑戦する		
指導目標	作品のテーマを決め、自由な発想で作品作りをしてもらいたい できるだけたくさんのコンテストに挑戦してもらいたい		
指導の要点及び留意点	多くの画材を集め、その中のカラーを取り入れる 服飾も統一性のあるものを準備する メイクアップをきれいに仕上げる		
評価の方法	授業態度、技術チェック、レポートの提出状況		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価　（カラー）

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1・2	カット道具 カラー道具 スタイリング道具 すき毛 シャンプー、リンス 筆記用具 フォトコン用ウイッグ	フォトコンテスト① 振興センター「9th フォトコンテスト 2025」	振興センター　フォトコンについて 作品イメージデッサン 「テーマ」作品名 デザインを考える ヘアカラーリングの選定 カットが必要であれば、カット道具が必要 カラーリングにはブリーチが必要 スタイリングにはすき毛が必要	
3・4	同上	振興センター	カラーリング きれいな色が出せるまでＷカラーを行う	
5・6	同上	振興センター	撮影ができるようにスタイリング仕上げ	
7・8	同上	振興センター	メイクアップ	
9・10	同上	フォトコンテスト② ユーカリジャパン「デザイナーズアワード 2025」	ユーカリ　フォトコンについて 作品イメージデッサン 「テーマ」作品名 デザインを考える ヘアカラーリングの選定 カラーリング	
11・12	同上	ユーカリジャパン	スタイリング 毛先まで丁寧にスプレーで仕上げを行う	
13・14	同上	ユーカリジャパン	撮影ができるようにスタイリング仕上げ	
15・16	同上	ユーカリジャパン	メイクアップ	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	授業時数
	ヘアスタイリストコース パーマアレンジ	実習	90 時間

配当時間	１コマ 90 分　18 コマ	担当授業時数	36 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・実務経験 10 年
学習の目的	パーマ理論を学び、正しく薬剤を扱えるようになる パーマデザインがいかに人の容姿に影響を与えるかを知る 自分で考えてデザインを組スみ立てられるようにする		
指導目標	さまざまなパーマ技法にチャレンジする 実際に薬剤に触れて、理論に基づいて正しく扱ってほしい 自分で考える力をつける		
指導の要点及び留意点	デザイン、技術チェックを行う。丁寧かつスムーズに セッティング状況のチェックを行う。作業スペースをいつもきれいに 実習では洗濯したタオルを必要枚数使用するので忘れないこと		
評価の方法	授業態度、技術チェック、仕上がりの確認		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1・2	美容技術理論１ 美容実習１ レポート	パーマ講義 スタイルの展示・実習	パーマ理論やサロンでの実際を説明。モデルの展示、レポートを書く	授業態度、レポート
3・4	カット用具 パーマの実際準備 パーマ用ウィッグ	ワンレングスカット ペアでスタイルを考える (スパイラル)水巻き	ブロッキングの幅、スライスの厚み 巻き込む方向に注意 ロッドの選定	
5・6	パーマの実際準備 パーマ用ウィッグ	スパイラルパーマの実際	水巻きで練習した手順で時間内にスパイラルパーマをかける	
7・8	〃	ペアでスタイルを考える (波巻き)水巻き	ブロッキングの幅、スライスの厚み 巻き込む方向に注意・ロッドの選定	
9・10	〃	波巻きパーマの実際	水巻きで練習した手順で時間内に波巻きパーマをかける	
11・12	ストレートパーマの実際準備 パーマ用ウィッグ	ストレートパーマの練習	トリートメント剤をストレート剤に見立てて練習。	
13・14	〃	ストレートパーマの実際	スライスの厚み、ステムの角度に注意する	
15・16	パーマの実際準備 ストレートをかけたウィッグ	スパイラルパーマ水巻き	ブロッキングの幅、スライスの厚み 巻き込む方向に注意 ロッドの選定	
17・18	〃	スパイラルパーマの実際	ストレートパーマをかけた髪にパーマをかけるとどうなるかを知る	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	ヘアメイクコース メイク検定２級	実習	120 時間

配当時間	１コマ 90 分　　16 コマ	担当授業時数	32 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験７年 ウエディングスタイリスト経験１年 美容専門学校メイク教員 10 年
学習の目的	１．日本メイクアップ連盟主催メイクアップ技能検定２級取得 メイクアップの技術と知識のほか、接客マナーも含め、プロのメイクアップアーティストとして仕事ができるようにする。 ２．パターン化した技術だけでなく、個人の特徴や骨格を判断できるスキルを身につける。 ３．技術にあったコスメを選択できるスキルを身につける。		
指導目標	・光と影の法則について理解させる。 ・光と影をメイクアップで再現させるテクニックができるようにする。 ・顔の構造について詳しく理解させる。 ・スキンケア～ブラッシュオンメイクまでの応用ができるようにする。 ・印象別のメイクアップ技術をマスターする。		
指導の要点及び留意点	・道具のセッティング、衛生面、道具のメンテナンスに関して留意させる。 ・相モデル授業の中で、お客様への気遣いができる技術、接客を学ばせる。		
評価の方法	・筆記期末試験を行い 100 点満点中 60 点以上で合格とする。 ・授業への取り組み		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	テキスト	メイク検定２級対応	・スペースバランシング ・メイクアップにおける錯視効果を理解させる。・顔のパーツバランス。	
2	テキスト	メイク実習 「フレッシュメイク」	・イメージ別メイク ・「フレッシュメイク」の色彩、パーツ バランス、化粧品の質感を説明	
3	テキスト	メイク実習 「クールメイク」	・「フレッシュメイク」の色彩、パーツ バランス、化粧品の質感を説明。	
4	テキスト	メイク実習 「キュートメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「キュートメイク」の色彩、パーツ バランス、化粧品の質感を説明。	

5	テキスト	メイク実習 「キュートメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「キュートメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明	
6	テキスト	メイク実習 「キュートメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「キュートメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明	
7	テキスト	メイク実習 「エレガントメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「エレガントメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。	
8	テキスト	メイク実習 「エレガントメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「エレガントメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。	
9	テキスト	メイク実習 「エレガントメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「エレガントメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。	
10	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	・スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取りし、全体バランスを確認	
11	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	苦手部分の克服・復習 タイム取り	
12	テキスト	・スキンケア復習 ・トータルバランス ・タイム取り	苦手部分の克服・復習 タイム取り	
13	テキスト	・注意事項 ・トータルバランス ・タイム取り	苦手部分の克服・復習 タイム取り 全体バランスを確認	
14	テキスト	・注意事項 ・トータルバランス ・タイム取り	苦手部分の克服・復習 タイム取り 全体バランスを確認	
15	テキスト	・注意事項 ・トータルバランス ・タイム取り	苦手部分の克服・復習 タイム取り 全体バランスを確認	
16	テキスト	・注意事項 ・トータルバランス ・タイム取り	苦手部分の克服・復習 タイム取り 全体バランスを確認	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和7年度 1年生	科　目	授業方法	授業時数
	ヘアメイクコース メイク（kawaii 選手権）	実習	120 時間

配当時間	1コマ 90 分　　28 コマ	担当授業時数	56 時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験 7 年 ウエディングスタイリスト経験 1 年 美容専門学校メイク教員 10 年
学習の目的	1．日本メイクアップ連盟主催メイクアップ技能検定 2 級取得 メイクアップの技術と知識のほか、接客マナーも含め、プロのメイクアップアーティストとして仕事ができるようにする。 2．パターン化した技術だけでなく、個人の特徴や骨格を判断できるスキルを身につける。 3．技術にあったコスメを選択できるスキルを身につける。		
指導目標	・光と影の法則について理解させる。 ・光と影をメイクアップで再現させるテクニックができるようにする。 ・顔の構造について詳しく理解させる。 ・スキンケア～ブラッシュオンメイクまでの応用ができるようにする。 ・印象別のメイクアップ技術をマスターする。 ・Kawaii 選手権の校内大会出場準備を行う。		
指導の要点及び留意点	・道具のセッティング、衛生面、道具のメンテナンスに関して留意させる。 ・相モデル授業の中で、お客様への気遣いができる技術、接客を学ばせる。		
評価の方法	・筆記期末試験を行い 100 点満点中 60 点以上で合格とする。　・授業への取り組み		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	DVD など	Kawaii 選手権準備	Kawaii 選手権の概要 作品制作のための準備のについて イメージの膨らませ方	
2	DVD など	Kawaii 選手権準備	Kawaii 選手権の概要 作品制作のための準備のについて イメージの膨らませ方	
3	DVD など	Kawaii 選手権準備	Kawaii 選手権の概要 作品制作のための準備のについて イメージの膨らませ方	
4	DVD など	Kawaii 選手権準備	Kawaii 選手権の概要 作品制作のための準備のについて イメージの膨らませ方	
5	DVD など	Kawaii 選手権準備	Kawaii 選手権の概要 作品制作のための準備のについて	
6	参考資料	Kawaii 選手権準備	ステージメイク 舞台で映えるメイクアップの方法	

7	参考資料	Kawaii 選手権準備	ステージメイク 舞台で映えるメイクアップの方法	
8	参考資料	Kawaii 選手権準備	ステージメイク 舞台で映えるメイクアップの方法	
9	参考資料	Kawaii 選手権準備	キュートメイクの応用・質感・素材の選び方	
10	参考資料	Kawaii 選手権準備	キュートメイクの応用・質感・素材の選び方	
11	参考資料	Kawaii 選手権準備	キュートメイクの応用・質感・素材の選び方	
12	参考資料	Kawaii 選手権準備	作品に合わせた材料の準備の仕方 素材・質感の合わせ方	
13	参考資料	Kawaii 選手権準備	作品に合わせた材料の準備の仕方 素材・質感の合わせ方	
14	参考資料	Kawaii 選手権準備	作品に合わせた材料の準備の仕方 素材・質感の合わせ方	
15	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
16	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
17	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
18	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
19	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
20	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
21	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
22	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
23	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
24	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
25	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
26	参考資料	Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくりデッサン	
27	参考資料	Kawaii 選手権準備	デッサン完成・コラージュ	
28	参考資料	Kawaii 選手権準備	デッサン完成・コラージュ	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	ヘアメイクコース スタイリング	実習	120 時間

配当時間	１コマ 90 分　16 コマ	担当授業時数	32 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・実務経験４年
学習の目的	美容技術におけるトータルバランスの重要性の理解 最後まできちんと仕上げることの大切さの理解		
指導目標	ホットカラーやヘアアイロン、すき毛などの効果によるヘアアレンジの習得 基本のスタイルから応用したアレンジ技術の習得 スタイリング剤の適切な使用方法の習得		
指導の要点及び留意点	丁寧な技術、オリジナリティのある作品を仕上げる		
評価の方法	授業の都度作品のチェック		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1・2	ウィッグ（茶髪） スタイリング用具一式	コンテストスタイル１	山田先生による展示指導後、実際に仕上げていく	
3・4	ウィッグ（茶髪） スタイリング用具一式）	コンテストスタイル１の復習	復習で仕上げる	
5・6	ウィッグ（茶髪） スタイリング用具一式）	コンテストスタイル１の復習	復習で仕上げ山田先生に見ていただく	
7・8	ウィッグ（茶髪） スタイリング用具一式）	コンテストスタイル１の復習	復習で仕上げる	
9・10	ウィッグ（茶髪） スタイリング用具一式	コンテストスタイル２	山田先生による展示指導後、実際に仕上げていく	

11・12	ウィッグ（茶髪）スタイリング用具一式	コンテストスタイル２の復習	復習で仕上げる	
13・14	ウィッグ（茶髪）スタイリング用具一式	コンテストスタイル２の復習	復習で仕上げ山田先生に見ていただく	
15・16	ウィッグ（茶髪）スタイリング用具一式	コンテストスタイル２の復習	復習で仕上げる	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	ヘアメイクコース 化粧品検定	講義	120 時間

配当時間	１コマ 90 分　　12 コマ	担当授業時数	24 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・　無	実務経験概要	小中高理科教員免許（専修）・27 年
学習の目的	日本化粧品検定合格に向け、必要な事柄を学習する		
指導目標	テキスト、問題集を繰り返し学習しながら、日本化粧品検定の合格に必要な知識を得る		
指導の要点及び留意点	各単元におけるポイントをテキスト、問題集で確認しながら、検定に出題されやすい箇所を明確にし、間違いやすい内容や複雑な内容は繰り返し取り組む		
評価の方法			

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	日本化粧品検定対策テキスト・問題集	皮膚の構造、しくみとはたらき、表皮の構造としくみ、ターンオーバー（テキストｐ５２～６０）	皮膚の成り立ちやはたらき、細かい部位について理解する	
2	日本化粧品検定対策テキスト・問題集	基底膜、真皮のしくみ、皮膚の付属器官、皮膚の機能（テキストｐ６１～６７）	皮膚の成り立ちやはたらき、細かい部位について理解する	

3	日本化粧品検定対策テキスト・問題集	問題集ｐ４～１６（皮膚の構造、皮膚のしくみとはたらき、皮膚の機能	問題集に取り組み「皮膚・肌について知ろう」の内容の確認をする。不確かな箇所はしっかり確認する。	
4	日本化粧品検定対策テキスト・問題集	肌タイプと見分け方、季節と肌（テキストｐ７２～７５）問題集ｐ１８～２２	肌の分析と悩み別の最適な手入れ方法を理解する。問題集に取り組みポイントの確認をする。	
5	日本化粧品検定対策テキスト・問題集	肌悩みの原因とお手入れ（乾燥、ニキビ、毛穴（テキストｐ７６～８３） シミ、くすみ、クマ、しわ、たるみ（テキストｐ８４～９３）問題集ｐ２３～３１（肌悩みの原因とお手入れ）	悩み別の最適な手入れ方法を理解する 問題集に取り組み、「肌悩みの原因とお手入れ」の内容の確認をする。不確かな箇所はしっかり確認する。	
6	日本化粧品検定対策テキスト・問題集	メイクアップの手順、ファンデーション、フェイスパウダー、ハイライト、シェーディング、眉（テキストｐ９４～９８） アイシャドー、アイライン、まつげ、マスカラ、チーク、口紅（テキストｐ９９～１０３）	メイクアップの基本テクニックを理解する	
7	日本化粧品検定対策テキスト・問題集	問題集ｐ３２～３７（メイクアップの基本テクニック） 肌悩みに応じた化粧品の使い方（テキストｐ１０４～１０７） 問題集ｐ３８～３９（肌悩みに応じた化粧品の使い方）	問題集に取り組み、２級出題範囲の「メイクアップの基本テクニック」の内容の確認をする。不確かな箇所はしっかり確認する。問題集に取り組み「肌悩みに応じた化粧品の使い方」の内容の確認をする。不確かな箇所はしっかり確認する	
8	日本化粧品検定対策テキスト・問題集	肌を劣化させるさまざまな要因、外的要因（テキストｐ１１２～１１３）内的要因（テキストｐ１１４～１１９）問題集ｐ４１～４５（肌を劣化させるさまざまな要因）	肌を劣化させるさまざまな要因（外的要因）について理解する 肌を劣化させるさまざまな要因（内的要因）について理解する	
9	日本化粧品検定対策テキスト・問題集	紫外線が肌に与える影響（テキストｐ１２０～１２５）効果的なマッサージの必要性と方法（テキストｐ１２６～１３０）	問題集に取り組み「紫外線が肌に与える影響、効果的なマッサージの必要性と方法」の内容の確認をする。不確かな箇所はしっかり確認する。	
10	日本化粧品検定対策テキスト・問題集	美しいはだをつくる生活習慣（テキストｐ１３２～１３７） 問題集ｐ４６～５８（紫外線が肌に与える影響、効果的なマッ	問題集に取り組み「美しいはだをつくる生活習慣」の内容の確認をする。不確かな箇所はしっかり確認する。	

		サージの必要性と方法、美しいはだをつくる生活習慣）		
11	過去問、解説	過去問	過去問に取り組み、内容の最終確認をする	
12	過去問、解説	過去問	過去問に取り組み、内容の最終確認をする	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	授業時数
	ヘアメイクコース メイク	実習	90 時間

配当時間	１コマ 90 分　　60 コマ	担当授業時数	120 時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験７年 ウエディングスタイリスト経験１年 美容専門学校メイク教員 10 年
学習の目的	１．パターン化した技術だけでなく、個人の特徴や骨格を判断できるスキルを身につける。 ２．技術にあったコスメを選択できるスキルを身につける。		
指導目標	・印象別のメイクアップ技術をマスターする。 ・Kawaii 選手権では校内大会出場、校内大会入賞者は全国大会出場となる。 ・Kawaii 選手権の衣装、ヘアアレンジ、メイクの発想を形にする。		
指導の要点及び留意点	・道具のセッティング、衛生面、道具のメンテナンスに関して留意させる。 ・相モデル授業の中で、お客様への気遣いができる技術、接客を学ばせる。		
評価の方法	・授業内での作品づくり　　・授業への取り組み		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
2		〃	〃	
3		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
4		〃	〃	
5		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
6		〃	〃	
7		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
8		〃	〃	
9		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる	

			ヘア、メイク、衣装づくり	
10		〃	〃	
11		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
12		〃	〃	
13		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
14		〃	〃	
15		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
16		〃	〃	
17		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
18		〃	〃	
19		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
20		〃	〃	
21		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
22		〃	〃	
23		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
24		〃	〃	
25		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
26		〃	〃	
27		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
28		〃	〃	
29		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
30		〃	〃	
31		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
32		〃	〃	
33		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
34		〃	〃	
35		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	

36		〃	〃	
37		Kawaii 選手権準備	テーマイメージを膨らませる ヘア、メイク、衣装づくり	
38		〃	〃	
39		Kawaii 選手権準備	モデル試着 衣装調整、ヘアメイク練習	
40		〃	〃	
40		Kawaii 選手権準備	モデル試着 衣装調整、ヘアメイク練習	
41		〃	〃	
42		Kawaii 選手権準備	モデル試着 衣装調整、ヘアメイク練習	
43		〃	〃	
44		Kawaii 選手権準備	モデル試着 衣装調整、ヘアメイク練習	
45		〃	〃	
46		Kawaii 選手権準備	モデル試着 衣装調整、ヘアメイク練習	
47		〃	〃	
48		Kawaii 選手権準備	モデル試着 衣装調整、ヘアメイク練習	
49		〃	〃	
50		Kawaii 選手権準備	トータルコーディネート メイクタイムどり、ウォーキング	
51		〃	〃	
52		Kawaii 選手権準備	トータルコーディネート メイクタイムどり、ウォーキング	
53		〃	〃	
54		Kawaii 選手権準備	トータルコーディネート メイクタイムどり、ウォーキング	
55		〃	〃	
56		Kawaii 選手権準備	通し練習 メイクタイムどり、ウォーキング	
57		〃	〃	
58		Kawaii 選手権準備	通し練習 メイクタイムどり、ウォーキング	
59		〃	〃	
60		Kawaii 選手権準備	通し練習 メイクタイムどり、ウォーキング	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	トータルビューティコース まつ毛エクステンション	講義・実習	120 時間

配当時間	１コマ 90 分　後期 18 コマ	担当授業時数	36 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・　無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験５年
学習の目的	・ABE　Assistant　director　取得のための基礎知識を修得。 ・コンテスト出場に向けた技術の習得。		
指導目標	・衛生と安全に留意させる。 ・アイリストとしての知識と技術の習得。		
指導の要点及び留意点	・衛生と安全に細心の注意をはらう。 ・細かい作業のため、個々の指導の徹底。		
評価の方法	・授業における態度及び検定取得状況など。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1 2	テキスト 道具一式	まつげエクステンションとは 道具の説明 基本装着（ウィッグ）	概論、基礎知識 ワゴンセッティングなど Ｊカール、横付け	
3 4		基本装着（ウィッグ）	宿題確認→カット	
5 6		基本装着（ウィッグ）	宿題確認→カット	
7 8		テープ貼り（目が開くウィッグ） 根元付け（目が開くウィッグ） 全体リムーブの方法		
9 10		検定練習 流れの説明	通し	
11 12		検定練習	通し	
13 14		検定練習	通しタイム（トライアル）	
15 16		検定練習	通しタイム（トライアル）	
17 18		検定練習	通しタイム（トライアル）	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	トータルビューティコース ブライダル	実習	１２０時間

配当時間	１コマ９０分　前・後期　１０コマ	担当授業時数	２０時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・美容実務７年
学習の目的	ブライダルヘアメイクの基本的知識を理解し、ブライダル美容業界で即戦力として活躍できる技術を習得する。		
指導目標	１．ブライダルヘアメイクに必要な美容知識、技術を習得させる。 ２．技術を仕事として活かせる様、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身に付けさせる。 ３．現場の即戦力となれる様、ブライダルヘアメイクアーティストとして必要不可欠なセンス、創造性、表現方法、スピーディーさを学び、提案力と再現力を持った技術を身に付けさせる。		
指導の要点及び留意点	基本的なブライダル美容技術を習得させると共に、ブライダル美容業界における消費者ニーズに即した流行のスタイルを理解させ、技術に反映させる。		
評価の方法	作品評価		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1		・ブライダルヘア	・ホットカーラーの巻き方の展示と実習 ・ブロッキング、１束、すき毛の作り方、ピニング、逆毛の立て方の展示と実習	
2		・ブライダルヘア	・相モデルチェンジ	
3		・ブライダルヘア （夜会巻き） ブライダルヘア （カールアップ）	・ヘアアイロンの巻き方（リバース・フォワード）の展示と実習 ・ブロッキング、１束、ピニング、スクリューカール、ダブルスクリューカールの展示と実習	
4		・ブライダルヘア （夜会巻き）	・相モデルチェンジ	
5		・ブライダルメイク （ナチュラル・キュート）	・スキンケア（ローションパック）、ベースメイク、ポイントメイクの	

			展示と実習・ポイントメイクの説明と板書	
6		・ブライダルメイク （ナチュラル・キュート）	・相モデルチェンジ	
7		・ブライダルメイク （エレガント・クール）	・スキンケア（ローションパック）、ベースメイク、ポイントメイクの展示と実習 ・ポイントメイクの説明と板書	
8		・ブライダルメイク （エレガント・クール）	・相モデルチェンジ	
9		・ブライダルメイク （オーダーメイク）	・モデルの要望を聞いてメイクを仕上げる	
10		・ブライダルメイク （オーダーメイク）	・相モデルチェンジ	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	トータルビューティコース フェイシャル	実習	120 時間

配当時間	１コマ 90 分　　20 コマ	担当授業時数	40 時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン 子育て支援センター育児講座講師
学習の目的	日本エステティック協会認定フェイシャルエステティシャンの資格取得のための理論及び、実技を学び、資格試験の合格を目指す。		
指導目標	エステティック全般の理論、及びフェイシャルエステティックの技術を習得させ、資格試験に合格できるよう指導する。		
指導の要点留意点	範囲が広範の為、要点をまとめて分かりやすく、かつ的確に指導する。		
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記および実技試験の結果を考慮して成績を評価する。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書 プリント	授業概要説明 使用道具確認 C10　衛生と消毒	講義	
2	教科書 プリント	ベッドセッティング ワゴンセッティング 粧材確認 １）ポイントメイク落とし	デモンストレーション 実技演習	
3	教科書 プリント	C1　エステティックとは C11　エステティックの基礎知	講義	

		識		
4	教科書 プリント	2）クレンジング 3）拭き取り 4）ホットタオル拭き取り	実技演習	
5	教科書 プリント	C5　皮膚のしくみと働きⅠ C6　皮膚のしくみと働きⅡ	講義	
6	教科書 プリント	1）～4）復習	実技練習	
7	教科書 プリント	C13　Fエステティックの基礎知識 C7　エステティックカウンセリング	講義	
8	教科書 プリント	【フェイシャルマッサージ】 1）軽擦法 2）強擦法 3）揉撚法	実技演習	
9	教科書 プリント	C8　化粧品の種類と働き	講義	
10	教科書 プリント	1）～3）復習	実技練習	
11	教科書 プリント	C2　ホメオスタシスとは	講義	
12	教科書 プリント	4）打法 5）振動法 6）圧迫法 7）お仕上げ	実技演習	
13	教科書 プリント	C3　身体のしくみと働きⅠ	講義	
14	教科書 プリント	【フェイシャルマッサージ】 復習	実技練習	
15	教科書 プリント	C9　栄養の知識	講義	
16		トータル練習①	実技練習	
17		トータル練習②	実技練習	
18		トータル練習③	実技練習	
19		テスト対策	実技	
20		テスト	実技	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	トータルビューティコース 着付け	実　習	120 時間

配当時間	１コマ 90 分　　８コマ	担当授業時数	16 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許　1 級着付け技能士 ブライダル着付け経験７年
学習の目的	日本文化の一つである和装着物についての種類、特徴を学ぶことにより、着物に対する理解を深め、身近に着物、着付けを感じることができるよう、基本的な知識を学習する。		
指導目標	・着付け技術を行うにあたっての必要な基礎的知識、技術を習得する ・着付けをする上で、お客様への接し方など最低限のマナーを学ぶ		
指導の要点及び留意点	着物の技術に入る前の下準備や、着物の取り扱いなどを重点的に学ぶ		
評価の方法	授業態度や、習得度を授業中に確認し評価する。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容技術理論２ P148～	・事前準備 ・身だしなみ ・用具の名称、各部の名称	立ち振る舞い、着物の扱い方 用具の名称、用途、着物の各部の名称を理解	
2	美容技術理論２	・事前準備 ・着物の名称、たたみ方 ・肌着、裾除け、体型補整	着物の名称を理解させる 着物のたたみ方、肌襦袢の着せ方 タオル補整の作り方	
3	美容技術理論２	・事前準備 ・着物の名称、たたみ方 ・肌着、裾除け、体型補整	着物の名称を理解させる 着物のたたみ方、肌襦袢の着せ方 コットン補整の作り方	
4	美容技術実習２	・肌襦袢の役割 ・補整技術	コットン補整の位置、目的を理解 着付けの下準備を学び、2 人組でボディーに着付けをしてみる。	
5	美容技術実習２	・補整の種類 ・使用する着物の特徴	タオル及びコットン補整（腰） 長襦袢の着付けを学び、ボディーに着付けてみる	
7	美容技術実習２	・長襦袢の着付け展示 ・長襦袢の着つけ基本寸法確認	長襦袢の展示 裾合わせ、襟合わせ、紐の結び方、強さの加減を習得	
8	美容技術実習２	・長襦袢の着付け展示 ・長襦袢の着付け基本寸法確認 ・留袖の特徴	長襦袢の着付け実習 長襦袢の襟合わせ、裾合わせを学ぶ	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	授業時数
	トータルビューティコース まつ毛エクステンション	講義・実習	90 時間

配当時間	１コマ 90 分　前期 12 コマ	担当授業時数	24 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験５年
学習の目的	・ABE　Assistant　director　取得。 ・受験者全員の合格を目指す。		
指導目標	・衛生と安全に留意させる。 ・アイリストとしての知識と技術の習得。		
指導の要点及び留意点	・衛生と安全に細心の注意をはらう。 ・細かい作業のため、個々の指導の徹底。		
評価の方法	・授業における態度及び検定取得状況など。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1 2	テキスト 道具一式	検定対策	検定内容再確認 準備から通し練習	
3 4		検定対策	〃	
5 6		検定対策	外部講師による最終確認 学科試験対策	
7 8		検定対策	通し 学科試験対策	
9 10		検定対策	通し 学科試験対策	
11 12		検定試験		

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	授業時数
	トータルビューティコース ブライダル	実習	９０時間

配当時間	１コマ９０分　前・後期１６コマ	担当授業時数	３２時間
実務経験のある	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許･ブライダル美容実務７年

教員科目の有無			
学習の目的	ブライダルヘアメイクの基本的知識を理解し、ブライダル美容業界で即戦力として活躍できる技術を習得する。		
指導目標	1．ブライダルヘアメイクに必要な美容知識、技術を習得させる。 2．技術を仕事として活かせる様、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身に付けさせる。 3．現場の即戦力となれる様、ブライダルヘアメイクアーティストとして必要不可欠なセンス、創造性、表現方法、スピーディーさを学び、提案力と再現力を持った技術を身に付けさせる。		
指導の要点及び留意点	基本的なブライダルシーンで必要な美容技術を習得させると共に、それに伴う、マナー、振る舞いも合わせて身に着け、技術力はもちろんのこと、トータルバランスを考えたアーティストを養成する。状況により、相モデルを基本とするが、状況により、ウィッグでの授業に変更する。		
評価の方法	作品評価、出席率、授業態度の総合評価		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント	・ブライダルヘアメイク	・ホットカーラーの復習及び、トップシニヨンの復習	
2	プリント	・ブライダルヘアメイク	・ホットカーラーの復習及び、トップシニヨンの復習	
3		・作品制作案	・モデル選定 ・ドレスの選定とフィッティング	
4		・作品制作案	・ヘアメイク研究とデッサンの作成	
5		ドレスフィッティング	・モデルの要望をカウンセリングしながらデッサンに沿って実習	
6		ドレスフィッティング	・フィッティング後、撮影 ・アテンド、ポージング	
7		・ブライダルヘア （和装）	・ネープシニヨンスタイルを仕上げる	
8		・ブライダルヘア （和装）	・飾りの付け方、バランスを見ながら仕上げる。 ・夜会を入れたスタイルを仕上げる	
9		・ブライダルヘア	・編込みをいれたアレンジ	
10		・ブライダルヘア （和装）	・編込みをいれたアレンジ	
11	プリント	・ブライダルメイク （和装・水化粧）	・スキンケア、ベースメイク、ぼかし紅、ハイライト、水おしろい、ポイントメイクの展示と実習	
12	プリント	・ブライダルメイク （和装・水化粧）	・相モデルチェンジ	

13		・ブライダルヘアメイク	・モデルの要望をカウンセリングしながらデッサンに沿って実習	
14		・相モデル実習	・フィッティング、 ・アテンド、ポージング	
15		・ブライダルヘアメイク	・モデルの要望をカウンセリングしながらデッサンに沿って実習	
16		・相モデル実習	・フィッティング、 ・アテンド、ポージング	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和7年度 2年生	科　目	授業方法	授業時数
	トータルビューティコース 着付け	実　習	90時間

配当時間	1コマ90分　32コマ	担当授業時数	64時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許　1級着付け技能士 ブライダル着付け経験7年
学習の目的	日本文化の一つである和装着物についての種類、特徴を学ぶことにより、着物に対する理解を深め、身近に着物、着付けを感じることができるよう、基本的な知識をベースにより一層の応用力をつけ、留袖や、様々な和装の場面に対応できる技術を養います。		
指導目標	・着付け技術を行うにあたっての必要な基礎的知識、技術を習得する ・着付けをする上で、お客様への接し方など最低限のマナーを学ぶ ・着物の種類、特徴を学び、その場面にふさわしい着付け技術を身につける。 ・留袖の着付けを習得し、全美連評価認定制度の2級(留袖着付)の合格レベルを目指します。		
指導の要点及び留意点	主に和装ボディーを使用して行うが、お客様に対する振る舞いや、言葉使い等も合わせて習得する。		
評価の方法	・ボディーで、留袖着付けが30分で仕上げられるか確認テストをおこなう。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容技術理論2 P136～	・事前準備 ・身だしなみ ・用具の名称、各部の名称	・立ち振る舞い、着物の扱い方 ・用具の名称、用途、各部の名称を理解	
2	美容技術理論2	・事前準備 ・着物の名称、たたみ方 ・肌着、裾除け、体型補整	・着物の名称を理解させる ・着物のたたみ方、肌襦袢の着せ方 ・ボディーに着付けをしてみる	
3	美容技術理論2	・留袖着付けの特徴 ・補整づくり ・留袖のタオル補整	・着物の名称を理解させる。 ・着物のたたみ方、肌襦袢の着せ方 ・ボディーに着付けをしてみる	
4	美容技術実習2	・襟綴じ ・補整の復習 ・長襦袢の着付け	・留袖の補整の特徴を学ぶ ・補整を適切な場所に入れ、長襦袢まで着付けてみる ・紐の結び方、強さを習得	

5	美容技術実習２	・補整及び長襦袢着付けの復習 ・留袖着付け	・長襦袢の襟合わせを確認 ・着物の裾合わせを学ぶ ・腰ひもの位置に注意しながら、裾合わせの手順を確認	
6	美容技術実習２	・補整及び長襦袢着付けの復習 ・留袖着付け	・長襦袢の襟合わせを確認 ・着物の裾合わせを学ぶ ・基本的な寸法を理解する	
7	美容技術実習２	・補整及び長襦袢着付けの復習 ・留袖着付け	・長襦袢の襟合わせを確認 ・着物の裾合わせを学ぶ ・おはしよりの作り方を学ぶ	
8	美容技術実習２	・補整及び長襦袢の確認 ・留袖着付け	・着物の裾合わせの仕上がり寸法を確認し、手早く仕上げるやり方を学ぶ	
9	美容技術実習２	・補整及び長襦袢の確認 ・留袖着付け	・着物の裾合わせの仕上がり寸法を確認し、手早く仕上げるやり方を学ぶ	
10	美容技術実習２	・留袖着付けの基本的な仕上がり	・着物の裾合わせの仕上がり寸法を確認し、手早く仕上げるやり方を学ぶ	
11	美容技術実習２	・帯の種類、特徴 ・帯のたたみ方及び折り方 ・二重太鼓の展示	・補整及び長襦袢を 20 分で仕上げ襟合わせや中心がずれないように注意する	
12	美容技術実習２	・帯の種類、特徴 ・帯のたたみ方及び折り方 ・二重太鼓の基本寸法	・着物の裾合わせ及び、襟の角度、おはしよりの仕上がり状況を確認 ・帯結びの手順を確認	
13	美容技術実習２	・留袖着付け ・帯の折を復習 ・帯の締め方の復習	・補整及び長襦袢のタイムとり ・帯の扱い方及び締め方を学ぶ ・小物の使い方を学ぶ	
14	美容技術実習２	・留袖着付け ・帯の折を復習 ・帯の締め方の復習	・帯の扱い方及び締め方を学ぶ ・小物の種類及び、目的を理解し、使い方を学ぶ	
15	美容技術実習２	・留袖着付け ・二重太鼓の形、サイズを確認	・帯の扱い方及び締め方を学ぶ ・小物の種類及び、目的を理解し、使い方を学ぶ	
16	美容技術実習２	・留袖着付け ・着物の仕上がり ・帯結びの仕上がり	・補整～長襦袢（15 分） ・長襦袢～着物までを復習し、帯結びを完成させる	
17	美容技術実習２	・留袖着付け ・着物の仕上がり ・帯結びの仕上がり	・補整～長襦袢（15 分） ・長襦袢～着物までを復習し、帯結びを完成させる	
18	美容技術実習２	・留袖着付け ・着物の仕上がり	・補整～長襦袢を 15 分で仕上げる ・着物の襟合わせにおいて、比翼や長襦袢がきれいに仕上がる	

19	美容技術実習２	・留袖着付け ・着物の裾合わせ、襟合わせ ・帯の仕上がり	・帯の締め具合や、小物の仕上げ方 ・帯揚げの形、寸法を学ぶ ・帯締めの種類及び結び方を学ぶ	
20	美容技術実習２	・小物の種類 ・小物の使い方 ・小物の仕上げ方	・帯揚げの種類や仕上げ方を学ぶ ・帯締めの種類（平、丸）の違いや扇子のおさめ方を学ぶ	
21	美容技術実習２	・留袖の着付け ・小物の仕上げ	・帯揚げの種類や仕上げ方を学ぶ ・帯締めの種類（平、丸）の違いや扇子のおさめ方を学ぶ	
22	美容技術実習２	・留袖の着付け ・小物の仕上げ	・帯揚げの種類や仕上げ方を学ぶ ・帯締めの種類（平、丸）の違いや扇子のおさめ方を学ぶ・	
23	美容技術実習２	・留袖の着付け ・着物の着付け、小物の仕上げ ・二重太鼓の復習	・補整～長襦袢(15 分) ・長襦袢～着物～帯の仕上げ(35 分)バランスを見ながら仕上げる	
24	美容技術実習２	・留袖着付け ・二重太鼓仕上げ	・補整～長襦袢(15 分) ・長襦袢～着物～帯の仕上げ(35 分)バランスを見ながら仕上げる	
25	美容技術実習２	・SBS 着付 2 級審査項目にそって仕上がりの確認	・補整、長襦袢の確認 ・合格基準にそった仕上がりが時間内にできるよう繰り返し行う	
26	美容技術実習２	・SBS 着付 2 級審査項目にそって仕上がりの確認	・補整、長襦袢の確認 ・合格基準にそった仕上がりが時間内にできるよう繰り返し行う	
27	美容技術実習２	・SBS 着付 2 級審査項目にそって仕上がりの確認	・補整、長襦袢の確認 ・合格基準にそった仕上がりが時間内にできるよう繰り返し行う	
28	美容技術実習２	・SBS 着付 2 級審査項目にそって仕上がりの確認	・補整、長襦袢の確認 ・合格基準にそった仕上がりが時間内にできるよう繰り返し行う	
29	美容技術実習２	・SBS 着付 2 級審査項目にそった仕上がりの確認	・補整、長襦袢の確認 ・合格基準にそった仕上がりが時間内にできるよう繰り返し行う	
30	美容技術実習２	・SBS 検定 2 級の学科テスト事前講習 ・実技テスト通し練習	・過去問題の解説 ・合格基準にそった仕上がりが時間内にできるよう繰り返し行う	
31	美容技術実習２	・学科対策 ・実技試験通し練習	・過去問題の解説 ・合格基準にそった仕上がりが時間内にできるよう繰り返し行う	
32	美容技術実習２	・実技試験対策	・着付ける過程で、重要なポイントを確認しながら、最終チェックを行う	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	美容実習　（シャンプー）	実習	480 時間

配当時間	１コマ 90 分　サイド５コマ・リア５コマ	担当授業時数	20 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・美容師経験 10 年

学習の目的	美容室においてシャンプーの時間の大切さ、お客様を施術しているという緊張感や施術者としての自覚を持って相モデル授業に取り組む お客様から直接見られない施術だからこそシャワーヘッドを置く時など細かい所作まで気遣い、リラクゼーション効果を引き出せる様に心掛ける
指導目標	サロン入りした後では一番多い仕事なので基礎的な動作をベースに人によって頭の形や髪質の違いを実感し、その人に適した施術が出来るようにする 互いがモデルになった際に技術者の良い所を認め、盗み、改善点を考え切磋琢磨させる
指導の要点及び留意点	友人ではなくお客様であるという意識と緊張感を持って、相モデル授業に取り組む 手順や注意点が多い技術なのでメモを取り、反復する 毎回きれいに洗濯したタオルを使用するので忘れないこと
評価の方法	授業への姿勢、態度 各工程の技術チェック 忘れ物が無いか

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価（サイド）

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容実習１ シャンプー用具 ドライヤー ひざ掛け ヘアピンセット スタイリング剤	①ご案内と挨拶の仕方 ②イスの扱い方 ③タオルとクロスのつけ方 ④ブラッシング 美容実習　１　P6－8 ウィッグで手の動きを覚えてから相モデルで施術する イスの説明、プレーンリンス、タオルターバンの展示	モデル相手をお客様として扱う お声がけやひざ掛けのかけ方など基本的なことも身につける シャンプー手順や力加減等、複雑な所はメモを取る 事故やトラブルには充分配慮する	クロス掛けのチェック
2	同上	**ファーストシャンプー**の施術 泡立て方 タオルターバンの仕方 ブロードライの仕方	手順や姿勢、力加減などのメモを取る 展示、メモや教科書を活用し施術を行う 流れ作業にならないようにする お声がけなどのコミュニケーションも忘れずに行う ヘアドライはお互いに乾かしていき、 ドライ方法の取得も同時にしていく 泡立ち、隅から隅まで泡が付き洗えている	泡立てのチェック
3	同上	**セカンドシャンプー**の施術 泡立て方 細かい手の動かし方 ブロードライの仕方		手順のチェック

4	同上	ファーストシャンプー　復習 泡立て方 セカンドシャンプー　復習	か、流しが完璧に出来ているか、ターバンが巻けているかのチェックをそれぞれ受けながら進める 細かい手の動かし方やトリートメントの手順、力の入れ方を覚える 流しやターバンのチェック サイドは服の袖が顔に触れたり、自分の髪が顔に当たらないように注意する	ターバンチェック
5	同上	シャンプー通し　タイム１５分 トリートメント		
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価（リア）				
1	美容実習１ シャンプー用具 ドライヤー スタイリング剤	ご案内の仕方、ブラッシング、イスの説明、濡らし、ターバン **ウィッグをモデルに手順を覚えてから相モデルで行う** 美容実習　1　P16－25	サイドの時と同様に、相手をお客様として扱う。お声がけなどの基本も忘れない リアシャンプーはネープが特に洗いにくく泡が付きにくいので泡立てをしっかり行う	
2	同上	ファーストシャンプーの施術 泡立て方 ドライの仕方	手順や姿勢、力の入れ方などメモを取りながら展示を見て、メモと教科書を活用し、行う お声がけなどのコミュニケーションも忘れずに行う ヘアドライも相モデルで行っていき、ドライ方法の取得も同時にしていく 流しやターバンチェックを行う	泡立てのチェック
3	同上	セカンドシャンプーの施術 ブロードライの仕方		手順のチェック
4	同上	ファーストシャンプー　復習		ターバンチェック
5	同上	セカンドシャンプー　復習		
6	同上	シャンプー通し　タイム 15 分 トリートメントの塗布 ヘッドマッサージの仕方	トリートメントの手順、力の入れ方を覚える	
7	同上	シャンプー通し　タイム 15 分	泡立ち隅から隅まで泡が付き洗えているか、流しが完璧にできているか、ターバンが巻けているかのチェックをそれぞれ受けながら進める	
8	同上	シャンプー通し　タイム 15 分		

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和7年度 1年生	科　目	授業方法	授業時数
	トータルビューティー （メイク）	講義・実習	120時間

配当時間	1コマ90分　前期33コマ	担当授業時数	66時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験14年
学習の目的	メイクアップ道具の使用方法、モデルへの接し方など、接客マナーを身につける メイクアップの技術に使用する化粧品の特徴を理解する メイクアップに必要な基礎的知識を習得し、感性や感覚だけのメイクアップにとらわれない、理論のもとに成り立つ基礎的なメイクアップを学ぶ 肌本来の美しさを引き出せるようなメイクアップ技術を学ぶ		
指導目標	メイクアップ検定3級取得		
指導の要点及び留意点	相モデル授業の中で、モデルへの気遣いができる技術･接客を身につけてほしい 肌が敏感な場合はモデル自身の化粧品等を使用し、できる限り負担がかからないよう考慮する		
評価の方法	出席状況、授業態度		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	・テキスト ・メイク道具 ・ウィッグ	教材チェック テーブルセッティング 技術者の身だしなみ、接客マナー	道具や化粧品を機能的に配置でき、衛生的に使う方法 お客様に対する基本的なマナーや清潔感のある身だしなみ	
2・3	・テキスト ・メイク道具 ・ウィッグ	手指消毒の仕方 クレンジング （ウィッグ）	板書・展示 オイルクレンジングの特徴及びふき取りの手順 マスカラ、リップのクレンジング方法 全体クレンジングの乳化方法	
4・5	・テキスト ・メイク道具	クレンジング通し	**相モデル** 全体クレンジング、ポイントクレンジングの復習及び、ふき取り トーニングの特徴や注意点	
6・7	・テキスト ・メイク道具 ・ウィッグ	クレンジング～スキンケア （ウィッグ）	板書・展示 トーニング及びプロテクティングの目的、手順	
8・9	・テキスト ・メイク道具	クレンジング～スキンケア	**相モデル**	
10・11	・テキスト ・メイク道具 ・ウィッグ	クレンジング～ベースメイク （ウィッグ）	板書・展示 ファンデーションの特徴や、塗り方 パウダリングの目的や注意点	

12・13	・テキスト ・メイク道具	クレンジング～ベースメイク	**相モデル** モデルの肌色を見極め、適するファンデーションを選択 ファンデーションを塗るときのスポンジテクニック	
14・15	・テキスト ・メイク道具 ・ウィッグ	ベースメイク～アイメイク （ウィッグ）	板書・展示 ベースメイクの復習やブラシの扱い方や目の周りのアイシャドーのつけ方や注意点を学ぶ	
16・17	・テキスト ・メイク道具	ベースメイク～アイメイク	**相モデル**	
18・19	・テキスト ・メイク道具	ベースメイク～アイメイク リップ	**相モデル** アイシャドー、アイライン、アイラッシュカーラー、チークルージュの形、位置、入れ方を学ぶ	
20・21	・テキスト ・メイク道具	ベースメイク～アイメイク リップ	**相モデル** アイメイクの復習、バランス確認 リップブラシの種類及び使い方 ライン取りのテクニックを学ぶ	
22・23	・テキスト ・メイク道具	通し 検定対策	**本番モデル（女子メイン）** スキンケア～ブラッシュオンメイクアップまでの工程を 50 分でタイム取りし、全体バランスを確認	
24・25	・テキスト ・メイク道具	通し 検定対策	**本番モデル（男子メイン）** 検定の注意事項	
26・27	・テキスト ・メイク道具	通し 検定対策	**本番モデル（女子メイン）**	
28・29	・テキスト ・メイク道具	通し 検定対策	**本番モデル（男子メイン）**	
30・31	・テキスト ・メイク道具	メイクリハ 当日と同じ流れ	**本番モデル**	
32・33		検定		

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	授業時数
	美容実習　（ワインディング）	実習	420 時間

配当時間	１コマ 90 分　15 コマ	担当授業時数	30 時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験７年
学習の目的	・美容師国家試験（実技）の内容を理解し、衛生に留意した技術の習得。		
指導目標	・美容技術の基本を身につける。 ・衛生に対しての知識と実践を学ぶ。 ・国家試験の合格レベルに近づける。		
指導の要点及び留意点	・基本の技術と知識を身につけ、国家試験にも対応できる技術の習得。 ・衛生に留意した技術を学ぶ。		
評価の方法	・期末試験、進級試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	ワインディング用ウィッグ	ブロッキング（センター）	ブロッキング仕上げシェープ、角度に注意しながらセンターを巻く	
2	衛生用具	〃	センターブロッキング済みで正確に巻く	
3	ワインディング用ウィッグ	フロントのブロッキング及び、右バックサイドの復習	角度、配列を注意しながら、右バックサイドまで巻いてみる。	
4	衛生用具	〃	〃	
5	ワインディング用ウィッグ	センター７分で巻くその後右バックサイドを巻く	角度、配列、に注意しながら巻く	
6	衛生用具	〃	〃	
7	ワインディング用ウィッグ	センター～右バックサイド 及び左バックサイド	〃	
8	衛生用具	ワインディング全頭	シンメトリー及び角度、シェープ、配列に注意しながら巻く	
9	〃	〃	〃	
10	〃	〃	〃	
11	〃	全頭ノーブロッキング２０分	〃	
12	ワインディング用ウィッグ	全頭ノーブロッキング２０分	衛生用具の取り扱いに注意 全頭２０分	
13	及び衛生道具	〃	〃	
14	〃	〃	〃	
15	〃	〃	〃	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	総授業時数
	トータルビューティー （シャンプー）	実習	30 時間

配当時間	１コマ 90 分　サイド５コマ・リア５コマ	担当授業時数	20 時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　無	実務経験概要	美容師免許・美容師経験４年
学習の目的	お客様に施術をしているという緊張感を持ち、相モデル授業に取り組む 手順を覚えるだけでなくお客様への気遣いや、手つきの強弱など細かい所に意識を持ち、気持ちよいと思ってもらえるよう心掛ける		
指導目標	シャンプーの基礎をしっかりと覚え、正しい技術のある美容師になる お客様にシャンプーをしているという意識を持ち、接客スキルの向上も狙う 技術だけでなく、理論をしっかりと覚える		
指導の要点及び留意点	友人ではなくお客様という認識で行い、緊張感をしっかりと持つ 手順や注意点はメモを常に取り、しっかりと聞く		
評価の方法	授業態度、取り組む姿勢 各工程の技術チェック 道具の準備		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価（サイド）

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	美容実習１ シャンプー道具 スタイリング道具 ひざ掛け メモ帳 筆記用具	１年次の復習 ①ご案内と挨拶の仕方 ②イスの扱い方 ③タオルとクロスのつけ方 ④ブラッシング イスの説明、プレーンリンス、タオルターバンの展示 **ファーストシャンプー**の施術	友人をお客様として扱う お声がけなど基礎的な部分もしっかりと行う 事故やトラブルには充分配慮する	
2	同上	**セカンドシャンプー**の施術 泡立て方 タオルターバンの仕方 ブロードライの仕方	手順や姿勢、力の入れ方などのメモを取る 展示をしっかりと見て、メモや教科書を活用し施術を行う お声がけなどのコミュニケーションも忘れずに行う ヘアドライはお互いに乾かしていき、ドライ方法の取得も同時にする 泡立ち、隅まで泡が付き洗えているか、流しが完璧に出来ているか、ターバンが巻けているかのチェックをそれぞれ受け	
3	同上	**シャンプー通し** 泡立て方 細かい手の動かし方 ブロードライの仕方		
4	同上	**シャンプー通し** **頭皮マッサージ**の施術		

5	同上	**シャンプー通し**　タイム１５分 細かい手の動かし方 ブロードライの仕方	ながら進める 流れで行うシャンプーではなく、気持ちのいいシャンプーができるよう心がける	
授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価（リア）				
1	美容実習１ シャンプー用具 スタイリング道具 ひざ掛け メモ帳 筆記用具	１年次の復習 ご案内の仕方、ブラッシング、イスの説明、濡らし、ターバン **ファーストシャンプー**の施術	お客様として相手を扱う お声がけなどの基本もしっかりする リアシャンプーはネープが特に洗いにくく泡が付きにくいので泡立てをしっかり行う	
2	同上	**セカンドシャンプー**の施術 泡立て方 ドライの仕方	手順や姿勢、力の入れ方などメモを取る メモと教科書を活用し行う お客様が苦しい姿勢ではないか、お声がけなどコミュニケーションを忘れず丁寧に接客をする 頭皮マッサージ ①タッピング②フィンガースルー③指圧④圧迫⑤チェンジリンス ヘアドライも相モデルで行い、ドライ方法の取得も同時にする	
3	同上	**ファーストシャンプー** **頭皮マッサージ**の施術		
4	同上	**シャンプー通し** 泡立て方 細かい手の動かし方 ブロードライの仕方		
5	同上	**シャンプー通し**　タイム 15 分 ドライの仕方		

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	トータルエステティックⅠ （フェイシャル理論）	講義	200 時間

配当時間	１コマ 90 分　前期・後期８コマ	担当授業時数	16 時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　無	実務経験概要	CIDESCO 取得・AJESTHE 認定講師 美容師免許
学習の目的	エステティックに関する基礎知識と技術の基本的な流れや目的・手法・効果について理解する。クライアントの肌や目的に合わせてトリートメントを行うことを目指す。		
指導目標	エステティック全般の基礎的な知識と技術（手法・効果）を理論的に理解する。		
de	要点をまとめ効率的な指導を行う。学生の自主的な学習を促す。		
評価の方法	出席状況・授業態度・筆記試験の結果を考慮し総合評価とする。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学 技術編Ⅰ	Chapter 1 -Lesson1 フェイシャルエステティックの 目的と効果	講義（教科書・プリント・資料）	
2	新エステティック学 技術編Ⅰ	Chapter 1 -Lesson2/3/4 ・流れ・事前準備・フェイシャルト リートメント	講義（教科書・プリント・資料）	
3	新エステティック学 技術編Ⅰ	Chapter 1 -Lesson5 フェイシャルエステティック機器①	講義（教科書・プリント・資料）	
4	新エステティック学 技術編Ⅰ	Chapter 1 -Lesson5/6 フェイシャルエステティック機器②	講義（教科書・プリント・資料）	
5	新エステティック学 技術編Ⅰ	Chapter 1 -Lesson6 フェイシャルマッサージ① （軽擦法・強擦法・揉捻法）	講義（教科書・プリント・資料）	
6	新エステティック学 技術編Ⅰ	Chapter 1 -Lesson6 フェイシャルマッサージ② （打法・振動法・圧迫法）	講義（教科書・プリント・資料）	
7	新エステティック学 技術編Ⅰ	まとめ	講義（教科書・プリント・資料）	
8	新エステティック学 技術編Ⅰ	センター試験対策	講義（教科書・プリント・資料）	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和 7 年度 1 年生	科　目	授業方法	授業時数
	ウェルネス理論 I	講義	90 時間

配当時間	1 コマ 90 分　前期・後期 22 コマ	担当授業時数	44 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・　無	実務経験概要	CIDESCO 取得・AJESTHE 認定講師 美容師免許
学習の目的	1:エステティックトリートメントを正しく行うために人体の構造・働きの基本を理解し、身体の悩みとの関連性を学ぶ。 2:健康と美容についてより深い知識を理解する。 3:エステティック効果がホメオスタシスと関わる生体反応であることを理解する		
指導目標	1:人体の構造・働きの基本を正しく理解し禁忌施術を防ぐ。 2:健康と美容への知識を深め、カウンセリングやトリートメント作成に役立てる。		
指導の要点及び留意点	学び得た知識がエステティックトリートメントに活用できるようにグループワークも含め自主的な学習を促す。		
評価の方法	出席状況・授業態度・筆記試験の結果を考慮し総合評価とする。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	新エステティック学理論 I	Chapter1-Lesson1 生命と適応進化	講義（教科書・プリント・資料）	
2	新エステティック学理論 I	Chapter1-Lesson2 ホメオスタシスとは	講義（教科書・プリント・資料）	
3	新エステティック学理論 I	Chapter1-Lesson 3 ホメオスタシスを制御するしくみ	講義（教科書・プリント・資料）	
4	新エステティック学理論 I	Chapter1-Lesson4 ホメオスタシスを乱すストレス	講義（教科書・プリント・資料）	
5	新エステティック学理論 I	Chapter1-Lesson1 まとめ・復習	教科書・プリント・資料	
6	新エステティック学理論 I	Chapter2-Lesson1 身体の基本・構成	講義（教科書・プリント・資料）	
7	新エステティック学理論 I	Chapter1-Lesson2 骨格系・筋系	講義（教科書・プリント・資料）	
8	新エステティック学理論 I	Chapter1-Lesson3 神経系・神経細胞	講義（教科書・プリント・資料）	
9	新エステティック学理論 I	Chapter1-Lesson3 中枢神経系	講義（教科書・プリント・資料）	
10	新エステティック学理論 I	Chapter1-Lesson3 末梢神経系	講義（教科書・プリント・資料）	
11	新エステティック学理論 I	Chapter1-Lesson3 自律神経系	講義（教科書・プリント・資料）	

12	新エステティック学 理論Ⅰ	Chapter1-Lesson4 感覚・感覚の分類	講義（教科書・プリント・資料）	
13	新エステティック学 理論Ⅰ	Chapter1-Lesson5 内分泌系	講義（教科書・プリント・資料）	
14	新エステティック学 理論Ⅰ	復習	教科書・プリント・資料	
15	新エステティック学 理論Ⅰ	Chapter1-Lesson6/7 呼吸器系・循環器系 血液・リンパ	講義（教科書・プリント・資料）	
16	新エステティック学 理論Ⅰ	Chapter1-Lesson7/8 循環器系・消化器系 血液・リンパ	講義（教科書・プリント・資料）	
17	新エステティック学 理論Ⅰ	Chapter1-Lesson9/10 泌尿器系・生殖器系	講義（教科書・プリント・資料）	
18	新エステティック学 理論Ⅰ	総復習	プリント・問題集	
19	新エステティック学 理論Ⅰ	総復習	プリント・問題集	
20	新エステティック学 理論Ⅰ	センター試験対策	プリント・問題集	
21	新エステティック学 理論Ⅰ	センター試験対策	プリント・問題集	
22	新エステティック学 理論Ⅰ	センター試験対策	プリント・問題集	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	脱毛Ｉ	講義＆実習	40 時間

配当時間	１コマ 90 分　22 コマ	担当授業時数	44 時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　無	実務経験概要	CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年＆教員経験 5 年
学習の目的	ワックス脱毛の効果と安全性に関する基礎、体毛の仕組みについて理解する。 ワックス脱毛技術の向上に努め、さらに使用する化粧品の成分や特徴、毛の構造や毛周期などの知識を持ち、脱毛するにあたり有効な施術が行えるようにする。		
指導目標	ワックス脱毛に基本的な毛髪学概論と技術に関する基礎的な知識を習得させる。 安全かつ手際がよい技術が行えるようにするとともに、衛生面に留意したトリートメントが行えるように指導する。 ウォームワックスとホットワックスの違いや特性を理解させる。		
指導の要点及び留意点	各部位に対する基本的なワックス脱毛技術を確実に身につけさせる。 手指や器具の消毒等、衛生面に対する意識を高めるよう指導する。		
評価の方法	評価基準表による採点・授業態度		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	技術編Ｉ	Lesson1 体毛について	板書＆教本ライン ・毛髪学概論 ・毛の特色と分類 ・毛と毛包の構造	
2	技術編Ｉ	Lesson1 体毛について Lesson2 ワックス脱毛概論	板書＆教本ライン ・毛周期 ・脱毛の種類 ・ワックス脱毛施術の流れ ・準備（ワゴン＆ベッド） ・禁忌事項、ホームケアアドバイス ・使用化粧品（成分知識）	
3	技術編Ｉ	Lesson3 ワックス脱毛技術 ウォームワックス（膝下）	教本ライン ・ワックス脱毛の基本技術（流れ） ・ワゴン＆ベッドセッティング ・衛生面 ・デモンストレーション（膝下）	
4	技術編Ｉ	ワックス脱毛（ウォーム） 膝下	相モデルトレーニング（膝下）	
5	技術編Ｉ	４の反復	相モデルトレーニング（膝下）	

6	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 膝下	相モデルトレーニング（膝下）	
7	技術編Ⅰ	６の反復	相モデルトレーニング（膝下）	
8	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 大腿部	相モデルトレーニング（大腿部）	
9	技術編Ⅰ	８の反復	相モデルトレーニング（大腿部）	
10	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ウォーム） 上肢	相モデルトレーニング（上肢）	
11	技術編Ⅰ	１０の反復	相モデルトレーニング（上肢）	
12	技術編Ⅰ プリント	ホットワックス概論	板書 ・ワックス剤の種類 ・ホットワックスの特徴 ・ホットワックス施術の注意事項 ・工程＆施術ポイント ・シデスコ口頭質問のポイント	
13	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ホット） 腋	デモンストレーション（腋） 相モデルトレーニング（腋）	
14	技術編Ⅰ	１３の反復	相モデルトレーニング（腋）	
15	技術編Ⅰ	ワックス脱毛（ホット） 腋	相モデルトレーニング（腋）	
16	技術編Ⅰ	１５の反復	相モデルトレーニング（腋）	
17	技術編Ⅰ	ワックス脱毛 （ウォーム＆ホット） 膝下＆腋	相モデルトレーニング （膝下＆腋）	
18	技術編Ⅰ	１７の反復	相モデルトレーニング （膝下＆腋）	
19	技術編Ⅰ	ワックス脱毛 （ウォーム＆ホット） 膝下＆腋	・技術テスト対策（ポイント） 相モデルトレーニング （膝下＆腋）	
20	技術編Ⅰ	１９の反復	相モデルトレーニング （膝下＆腋）	
21	技術編Ⅰ	脱毛技術テスト（ウォーム） 膝下	脱毛技術テスト	
22	技術編Ⅰ	２２の反復	脱毛技術テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	トータルエステティックⅠ （タイ古式）	実習	200 時間

配当時間	１コマ 90 分　　10 コマ	担当授業時数	20 時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	体育学学士、中高保健体育科教員免許 タイ保健省認定タイ古式マッサージ師 認定エステティシャン 子育て支援センター育児講座講師
学習の目的	東洋医学の歴史や、仏教との関わりについても理解し、代替医療、予防医学としても大きな役割を果たしている「タイ古式マッサージ」について学び、基本的な施術ができるようになることを目的とする。		
指導目標	東洋医学の一つであるタイ王国の伝統医学として現代においても様々なマッサージ、エステティックケアのベースとしても応用される「タイ古式マッサージ」をその歴史と、施術法について学び、「タイ古式マッサージ」の基本手技を用いた施術ができるように指導する。		
指導の要点及び留意点	授業は講義と実技演習などを中心とする。相モデルを組み、施術者側、モデル側双方の立場になり、それぞれの立場に立って学生自らより良い技能を工夫できる授業を展開していく。		
評価の方法	出席状況、授業態度、筆記および実技試験の結果を考慮して成績を評価する。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント	タイ古式マッサージについて	講義	
2	プリント	注意事項 １、横向き	講義 デモンストレーション　実技練習	
3	プリント	１、横向き　復習	実技練習	
4	プリント	２、うつ伏せ	デモンストレーション 実技練習	
5	プリント	３、仰向け	デモンストレーション 実技練習	
6	プリント	４、あぐら座り～終了	デモンストレーション 実技練習	
7	プリント	トータル練習①	実技練習	
8	プリント	トータル練習②	実技練習	
9	プリント	実技テスト練習	実技練習	
10		テスト	実技テスト	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	アロマテラピーⅠ	講義	30 時間

配当時間	１コマ 90 分　　17 コマ	担当授業時数	34 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・　無	実務経験概要	アロマインストラクター・経験 10 年
学習の目的	1、アロマテラピーのメカニズム、心身への作用を理解させる。 2、香りを体験し、嗅ぎ分けることができるようにする。 3、それぞれの精油の効果、効能を理解する。		
指導目標	1、アロマテラピーを家族や周囲の人たちと楽しみ、健康維持のために用いる知識を身につける 2、17 種類の精油を嗅ぎわけられるようにする。		
指導の要点及び留意点	類似した精油の香り、効果効能を間違えずに理解させる。 日本におけるアロマテラピーは医療行為ではないことを理解させる。		
評価の方法	授業態度 筆記試験：100 点満点（配分未定）予定		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter1～2　P8～24 アロマテラピー基本 精油について、抽出方法	重要ポイントの確認、復習	
2	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter3～4　P28～54 アロマテラピーの安全性 アロマテラピーを実践する	重要ポイントの確認、復習	
3	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter5　P56～60 アロマテラピーのメカニズム	精油が心身に伝わる仕組み、嗅覚器から脳へ伝わる経路等を学ぶ	
4	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter6　P62～66 睡眠、ストレス、ホルモン	アロマテラピーと健康についての知識を深める	
5	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter6　P69～74 スキンケア	アロマテラピーと美容についての知識を深める	
6	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter７　P76～80 アロマテラピーの歴史	古代、中世、近世～近代の歴史を理解させる	
7	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter7　P82～86 アロマテラピーの歴史	現代においてのアロマテラピーを理解させ、年表でさらに復習する	
8	アロマテラピー検定　公式テキスト	Chapter8 P88～92 アロマテラピーに関する法律	アロマテラピーに関わる商品や施術についての法律を理解させる	
9	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール　P98～102	イランイラン、クラリセージ、グレープフルーツ、サイプレス、サンダルウッド	

10	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール　P103～107	ジャーマンカモミール、ジャスミン ジュニパーベリー、スイートオレンジ、マジョラム	
11	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール　P108～112	ゼラニウム、ティートゥリー、ネロリ、パチュリ、ブラックペッパー	
12	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール P113～117	フランキンセンス、ベチバー、ペパーミント、ベルガモット、ベンゾイン	
13	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール P118～122	ミルラ、メリッサ、ユーカリ、ラベンダー、レモン	
14	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール　P123～127	レモングラス、ローズ、ローズオットー、ローズマリー、ローマンカモミール	
15	アロマテラピー検定　公式テキスト	精油プロフィール	プロフィール復習、書き取り 練習問題	
16	アロマテラピー検定　公式問題集	１級練習問題①	練習問題 解答、解説	
17	アロマテラピー検定　公式問題集	１級練習問題②	練習問題 解答、解説	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	トータルエステⅠ （シデスコメイク）	実習	200 時間

配当時間	１コマ 90 分　　10 コマ	担当授業時数	20 時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　無	実務経験概要	美容師免許・ ブライダルヘアメイク経験７年 ウエディングスタイリスト経験１年 美容専門学校メイク教員 10 年
学習の目的	一般的に行われている美容技術を中心に、その目的、種類、特徴、技術上の注意などを学ばせ、社会の中での美容技術の重要性を理解させる。		
指導目標	１．エステティシャンに必要なメイクアップの知識、技術を習得させる。 ２．技術を仕事として活かせる様、道具の使用方法、モデルへの接し方及び技術者のマナーを身に付けさせる。 ３．現場の即戦力となれる様、技術者として必要不可欠なセンス、創造性、表現方法、スピーディーさを学び、提案力と再現力を持った技術を身に付けさせる。		
指導の要点及び留意点	メイクアップを通して、モデルの本来持っている美しさを引出し、近代メイクアップ技術とマナーを習得させる。		
評価の方法	・作品制作の総合評価（技術力・インパクト・トータルバランス・授業の姿勢等）で 60 点以上を合格とする。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	参考資料	メイク実習 「キュートメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「キュートメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。（実習）	
2	参考資料	メイク実習 「キュートメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「キュートメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。（実習）	
3	参考資料	メイク実習 「エレガントメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「エレガントメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。（実習）	
4	参考資料	メイク実習 「エレガントメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「エレガントメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。（実習）	
5	参考資料	メイク実習 「クールメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「クールメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。（実習）	
6	参考資料	メイク実習 「クールメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「クールメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。（実習）	
7	参考資料	メイク実習 「フレッシュメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「フレッシュメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。（実習）	
8	参考資料	メイク実習 「フレッシュメイク」	・美容雑誌を使用し、視覚的学習。 ・「フレッシュメイク」の色彩、パーツバランス、化粧品の質感を説明。（実習）	
9	参考資料	モデル練習	苦手部分の克服・復習	
10	参考資料	モデル練習	苦手部分の克服・復習	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	授業時数
	シデスコ理論	講義	70 時間

配当時間	１コマ 90 分　39 コマ	担当授業時数	78 時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	CIDESCO 国際ライセンス AJESTHE 認定講師 エステ経験 20 年＆教員経験５年
学習の目的	国際ライセンス「CIDESCO」取得のため、シデスコ筆記対策に特化した１０科目の分野の解説を行う。◇自然科学・生理解剖学・皮膚科学・皮膚病学・衛生管理学・エステティックトリートメント・化粧品学・美容外科・栄養学・職業倫理・経営学を学ぶ。		
指導目標	国際ライセンス「CIDESCO」とはどんな資格なのかを理解させたうえで、シデスコ理論を学ぶ。学習した理論をベースに、シデスコ筆記試験対策を行う。筆記試験の傾向をとらえ学習させるとともに、例題問題を活用し模擬テストを行うなど、理解度の向上を図る授業展開を行う。		
指導の要点　及び留意点	すでに学習した理論知識と実習の関連性を認識させるべく、口頭質問を交えながら行い、学生の理解度を高め、応用力のある学生へと育成する。		
評価の方法	学期末試験成績：１００点満点（配点未定）予定 出席状況・授業態度		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	プリント	CIDESCO 試験概要	板書＆プリント ・試験の流れ ・試験タイムスケジュール ・モデル選定基準 ・試験までの提出物スケジュール	
2	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 自然科学 （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	
3	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 自然科学 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
4	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 生理解剖学 （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・細胞～循環器系	
5	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 生理解剖学 （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	

			・消化器系～泌尿器系	
6	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 生理解剖学 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・内分泌系～生殖器系 ・例題問題プリント使用	
7	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 生理解剖学 （例題解答）	プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
8	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 皮膚科学＆皮膚病学 （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	
9	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 皮膚科学＆皮膚病学 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
10	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 衛生管理学 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
11	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン エステティックトリートメント （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	
12	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン エステティックトリートメント （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
13	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 化粧品学 （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	
14	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 化粧品学 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
15	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 美容外科 （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	
16	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 美容外科 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	

			・例題問題プリント使用	
17	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 栄養学 （解説）	板書 ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開	
18	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 栄養学 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
19	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 職業倫理 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
20	プリント CIDESCO ガイドライン	CIDESCO ガイドライン 経営学 （解説＆例題解答）	板書＆プリント（例題問題） ・CIDESCO ガイドラインに沿った授業展開 ・例題問題プリント使用	
21	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用	
22	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用	
23	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用	
24	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用	
25	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用	
26	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策 ◇過去問題 （解説＆問題解答）	プリント（過去問題） ・過去問題プリント使用 ・解説＆問題解答	
27	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策 ◇過去問題 （解説＆問題解答）	プリント（過去問題） ・過去問題プリント使用 ・解説＆問題解答	
28	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用（過去問題 MIX）	
29	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用（過去問題 MIX）	
30	プリント	CIDESCO 理論 ◇筆記試験対策	プリント（例題問題） ・練習問題使用（過去問題 MIX）	

31	プリント	CIDESCO 理論	総復習（テスト対策）	
32	プリント	CIDESCO 理論 ◇テスト	筆記テスト	
33	プリント	CIDESCO 試験概要	板書＆プリント ・試験の流れ詳細（筆記＆実技） ・試験タイムスケジュール ・試験配点ポイント ・身だしなみ ・準備品確認	
34	プリント 練習問題	CIDESCO 筆記試験 ◇MCQ 対策	プリント練習問題 ・１００問×２パターン模擬試験	
35	プリント 練習問題	CIDESCO 筆記試験 ◇MCQ 対策	プリント練習問題 ・１００問×２パターン模擬試験	
36	プリント 練習問題	CIDESCO 筆記試験 ◇MCQ 対策	プリント練習問題 ・１００問×２パターン模擬試験	
37	プリント 練習問題	CIDESCO 筆記試験 ◇MCQ 対策	プリント練習問題 ・１００問×２パターン模擬試験	
38	プリント 練習問題 過去問題	ＭＣＱ対策	プリントランダム選択 ・１００問×２パターン模擬試験	
39	プリント 練習問題 過去問題	ＭＣＱ対策	プリントランダム選択 ・１００問×２パターン模擬試験	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法		授業時数
	ブライダルマーケティング論	講義／実習		30 時間

配当時間	1 コマ 90 分　後期 17 コマ	担当授業時数	34 時間
実務経験のある教員科目の有無	有　・　無	実務経験概要	ウェディングプランナー実務経験 27 年
学習の目的	● ブライダルのマーケティングの基礎知識の習得 ● WEB や SNS を活用した広告宣伝について知る		
指導目標	● 企業や会場におけるイメージ戦略の重要性を把握させる ● ビジネスとしてのブライダルを意識させる		
指導の要点及び留意点	● プランナー業務との関連性をイメージできるようにする ● 県内のユーザーや会場を素材に実際に考える機会を持たせる		
評価の方法	● 期末テスト 80 点以上 ● 授業態度 ● 実習課題の達成度		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	ブライダルマーケティング P.3~20/P.41~43	ブライダルマーケティングとは	マーケティングの基礎知識とブライダルにおけるマーケティングについて学ぶ *P.9~14 ホテルに特化した項目は要点のみ	
2	ブライダルマーケティング P.21~40	ブライダルマーケティングの方向性	ブライダルにおけるマーケティングの現状を学び、将来像を考える	
3	ブライダルマーケティング P.44~54	ブライダル商品の特性	ブライダル商品についてマーケティング視点で考える	
4	ブライダルマーケティング P.55~61 P.62~67	市場調査①	市場調査の内容と方法について知る *P.191 資料（人口動態調査）最新版準備	
5	ブライダルマーケティング P.68~82	市場調査②	市場調査の内容と方法について知る	

6	ブライダル マーケティング P.83~89	商品開発①	ブライダル商品の開発手法について知る	
7	ブライダル マーケティング P.83~89	商品開発②	ブライダル商品の開発手法について知る	
8	ブライダル マーケティング P,90~99	オリジナルウェディング	オリジナルウェディングをマーケティングの視点で考える	
9	ブライダルマーケティング P.100~112 P.175~190	関連商品 新たなマーケット	ブライダル関連商品と今後関係が深まると予想されるマーケットを知る	
10	ブライダル マーケティング P.113~150	セールス	マーケットの特徴を踏まえたセールスについて考える	
11	ブライダル マーケティング P.151~159	販売促進、広報①	販売促進学ぶための活動、広報活動について学ぶ	
12		フェア内容と広告企画の作成	*PC（PowerPoint または Google スライド）で作成	
13	ブライダル マーケティング P.160~174	販売促進、広報②	販売促進学ぶための活動、広報活動について学ぶ	
14	ブライダル マーケティング P.160~174	販売促進、広報③	販売促進学ぶための活動、広報活動について学ぶ オンラインツールの活用方法について知る	
15		広告誌面、SNS 素材の作成	*PC（PowerPoint または Google スライド）で作成	
16		課題プレゼンテーション	フェア内容とその広告課題のプレゼンテーション、フィードバック	
17		確認テスト	テスト時間 60 分 終了後に正答解説	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和 7 年度 2 年生	科　目	授業方法	授業時数
	ドレスコーディネーター論	講義	30 時間

配当時間	1 コマ 90 分　前・後期 17 コマ	担当授業時数	34 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・　無	実務経験概要	BIA ブライダルコーディネーター 婚礼衣裳店運営 10 年
学習の目的	婚礼衣裳コーディネーターとしての専門知識、レンタル衣裳店実務、トータルコーディネーターとして必要な関連知識を学ぶ。		
指導目標	1. 婚礼衣裳業務に関わる洋装、和装の専門的基礎を習得した上で、現代のカジュアルスタイルまでを的確に提案できる知識を身につける。 2. 貸衣裳業務に携わるために必要な実践的技術を身につけ、接客に役立つスキルを学ぶとともに、衣裳がウェディング全般にどのような位置付けであるかを把握する。 3. WBJ 認定ドレスコーディネーター資格の取得を目指す。		
指導の要点及び留意点	婚礼施工において多様化する新郎新婦の衣裳に対するニーズを理解し、専門的知識と実践的なスキル、TPO に応じた提案ができる多様化した人材となる指導をする。		
評価の方法	・学期末試験成績：100 点満点（配点未定）予定 ・授業態度及び出席率		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	日本のドレスコーディネーター	第 1 章　婚礼衣裳業界とは	テキストの内容の確認と補足説明 PC 使用しネットリサーチと共有	
2	日本のドレスコーディネーター	第 2 章　新婦の衣裳	テキストの内容の確認と補足説明 PC 使用しネットリサーチと共有	
3	日本のドレスコーディネーター	第 2 章　新婦の衣裳	テキストの内容の確認と補足説明 PC 使用しネットリサーチと共有	
4	日本のドレスコーディネーター	第 2 章　新婦の衣裳	テキストの内容の確認と補足説明 新婦衣裳についての学習発表	
5	日本のドレスコーディネーター	第 3 章　新郎の衣裳	テキストの内容の確認と補足説明 PC 使用しネットリサーチと共有	
6	日本のドレスコーディネーター	第 4 章　列席者の衣裳	テキストの内容の確認と補足説明 衣裳についての練習問題プリント	
7	日本のドレスコーディネーター	第 5 章　ドレスコーディネーターの業務	テキストの内容の確認と補足説明 PC 使用しネットリサーチと共有	
8	日本のドレスコーディネーター	第 6 章　貸衣裳店におけるドレスコーディネーターの実務	テキストの内容の確認と補足説明 PC 使用しネットリサーチと共有	
9	日本のドレスコーディネーター	第 6 章　貸衣裳店におけるドレスコーディネーターの実務	テキストの内容の確認と補足説明 PC 使用しネットリサーチと共有	
10	日本のドレスコーディネーター	第 6 章　貸衣裳店におけるドレスコーディネーターの実務	テキストの内容の確認と補足説明 衣裳店勤務経験者ゲスト講師	

11	日本のドレスコーディネーター	第 6 章　貸衣裳店におけるドレスコーディネーターの実務	テキストの内容の確認と補足説明 実務についての練習問題プリント	
12	日本のドレスコーディネーター	第 7 章　婚礼美容	テキストの内容の確認と補足説明 PC 使用しネットリサーチと共有	
13	日本のドレスコーディネーター	第 7 章　婚礼美容	テキストの内容の確認と補足説明 ヘアメイクアーティストゲスト講師	
14	日本のドレスコーディネーター	第 8 章　ブライダルフラワー	テキストの内容の確認と補足説明 PC 使用しネットリサーチと共有	
15	日本のドレスコーディネーター	第 8 章　ブライダルフラワー	テキストの内容の確認と補足説明 フラワーアーティストゲスト講師	
16	プリント	まとめ 検定対策	練習問題プリント 過去問題プリント	
17	プリント	まとめ 検定対策	練習問題プリント 過去問題プリント	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和 7 年度 1 年生	科　目	授業方法	授業時数
	ブライダルゼミ	講義	30 時間

配当時間	1 コマ 90 分　前後期 17 コマ	担当授業時数	34 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	ウェディングプランナー実務経験 20 年
学習の目的	1.専門知識を身につけ、研究、創作をする 2.提案することの必要性、重要性を理解する 3.プレゼンテーションする方法を工夫し伝える能力を身につける		
指導目標	興味をもった事柄、必要のある事案に対し、深いリサーチと研究をする方法、アイデアを生むための技法を身につける。プレゼンテーション能力の基礎を習得する		
指導の要点及び留意点	1.リサーチの方法やアイデアの出し方を提案し、発表方法、見せ方を指導する 2.伝えるためのコミュニケーションスキル、プレゼンテーションスキルを身につける		
評価の方法	・学期末試験（プレゼンテーション）60 点以上を合格とする ・授業態度、出欠席		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	パソコン	ブライダルゼミ概要説明	ブライダルゼミについて理解する	
2 3 4	パソコン	発表テーマを提示し予行練習	発表テーマについてどのようなリサーチが必要か組み立てをし、研究を行う	
5 6	パソコン	プレゼンテーションの方法をレクチャー	プレゼンテーションの方法、必要な資料を制作する	

7	パソコン	プレゼン発表	プレゼン後フィードバック	
8	パソコン	各個人でプレゼンテーマの検討・制作開始	各自プレゼンテーマを 3 つ以上出し、理由もまとめる（個人発表）	
9 10 11 12 13 14	パソコン 資料	ゼミ発表作品制作	内容は随時確認、フィードバックを行う	
15 16	パソコン 資料	プレゼン練習	内容・プレゼン方法、最終的なフィードバック、修正を行う	
17	パソコン 資料	ゼミ発表本番		

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和 7 年度 2 年生	科　目	授業方法	総授業時数
	キャリアデザイン	講義	30 時間

配当時間	1 コマ 90 分　前期 8 コマ・後期 9 コマ	担当授業時数	34 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	
学習の目的	1. 理想のキャリアデザインを明確にした上で、キャリアを実現するための方法を具体的にする 2. 社会人としてありたい将来像を捉え、経験やスキルを考えながら将来像に向けて行動できるきっかけを作る 3. 自分自身と向き合い、己を知り、理解をした上で自分にとっての価値を見つける		
指導目標	1. 自分自身の強み・弱み・能力・スキルを確認し、足りていない部分をどのように改善するか明確にする 2. 現状との差を埋めるためにどうするか具体的にする 3. 希望の企業に選ばれる人材を作る		
指導の要点及び留意点	1. コミュニケーション力（周囲の意見をよく聞き自分の意見も主張できる） 2. 自己管理能力（周囲の人の中で自分の強みを発揮することができる） 3. 問題解決力（客観的な事実に基づき、本質を見極められる）1～3 を軸に目標実現に向け計画を練る力を身に付けるよう指導		
評価の方法	授業態度、出欠席		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	参考書	思考トレーニング	質問に対して考え、グループディスカッションを実施→発表	

2	参考書	思考トレーニング	質問に対して考え、グループディスカッションを実施→発表	
3	参考書	コミュニケーションを高める	個人・グループワークを実施→発表	
4	参考書	コミュニケーションを高める	個人・グループワークを実施→発表	
5	参考書	自己理解	やる気のタイプ別診断を実施。対処法を考える。	
6	参考書	SPI 問題実施	解答・解説	
7	参考書	SPI 問題実施	解答・解説	
8	資料	【対面】面接練習（個人）	動画撮影後、内容確認。フィードバックを行い、実践力を身に付ける	
9	資料	【対面】面接練習（個人）	動画撮影後、内容確認。フィードバックを行い、実践力を身に付ける	
10	資料	【対面】面接練習（集団）	お互いに振り返りを実施	
11	資料	【対面】面接練習（集団）	お互いに振り返りを実施	
12	資料	グループディスカッション練習	実施後、フィードバック	
13	資料	グループディスカッション練習	実施後、フィードバック	
14	資料	グループディスカッション練習	実施後、フィードバック	
15	資料	【オンライン】面接練習（個人）	実施後、フィードバック	
16	資料	エントリーシート添削		
17	資料	エントリーシート添削		

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	授業時数
	レストランサービス実習	実習	６０時間

配当時間	１コマ９０分前期１７コマ・後期１６コマ	担当授業時数	６６時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	レストランサービス技能検定３級 ホテル・レストラン経験７年
学習の目的	※授業の存在意義、めざす事柄を記入 レストランサービス技能検定３級の取得		
指導目標	※授業終了後学生にできるようになってほしい能力を具体的に記入 レストランサービス技能検定の必要性を明確にし、合格する事		

	一、レストランサービスの基礎知識習得 二、レストランサービスの基礎技術習得
指導の要点及び留意点	一、各シチュエーションに合わせたサービス技法の習得 二、動作の美しさと機敏性の習得 三、検定に向けての注意事項、基本知識
評価の方法	期末テスト６０点以上

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	備品 教科書	ブレックファーストの セッティング及び技法	テーブルセッティング サービス実践	授業 態度
2	備品 教科書	ブレックファーストの セッティング及び技法	サービス実践	
3	備品 教科書	復習 ブレックファーストの セッティング及び技法	レストランサービス技能検定の課題 反復練習	
4	備品 教科書	ランチの セッティング及び技法	テーブルセッティング サービス実践	
5	備品 教科書	ランチの セッティング及び技法	テーブルセッティング サービス実践	
6	備品 教科書	復習 ランチの セッティング及び技法	レストランサービス技能検定の課題 反復練習	
7	備品 教科書	ディナーの セッティング及び技法	テーブルセッティング サービス実践	
8	備品 教科書	ディナーの セッティング及び技法	テーブルセッティング サービス実践	
9	備品 教科書	復習 ディナーの セッティング及び技法	レストランサービス技能検定の課題 反復練習	
10	備品 教科書	検定対策	お客さまお迎え 着席補助 メニュー表示	技術力
11	備品 教科書	検定対策	水のサービス オーダーテイク	

			シルバー交換	
12	備品 教科書	検定対策	ドリンクサービス 料理サービス 料理下げ	
13	備品 教科書	検定対策	お見送り リセット	
14 ～ 33	備品 プリント	検定対策	レストランサービス技能検定の課題 反復練習	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	授業時数
	レストランサービス実務	実務	６０時間

配当時間	１コマ９０分前期１７コマ・後期１６コマ	担当授業時数	６６時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	レストランサービス技能検定３級 ホテル・レストラン経験７年
学習の目的	※授業の存在意義、めざす事柄を記入 レストランサービス技能検定３級の取得		
指導目標	※授業終了後学生にできるようになってほしい能力を具体的に記入 レストランサービス技能検定の必要性を明確にし、合格する事 一、食材、料飲等の基礎知識習得 二、食文化、及び食品衛生及び公衆衛生知識習得 三、プロトコールにおける国際習慣		
指導の要点及び留意点	一、ホテルレストラン、ブライダルに必要な料飲知識の習得 二、検定に向けての注意事項、基本知識		
評価の方法	期末テスト６０点以上		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書	第４章　食文化	第１節　食文化史と現状の食環境 ～　食事作法 第３節　西洋料理の移り代わり	授業態度
2	教科書	第５章　施設管理	第１節　設備の知識 第２節　防災	
3	教科書	第６章　苦情対応	第１節　料飲サービス 第２節　お客様対応 第３節　遺失物の扱い	

4	教科書 プリント	小テスト	第４章～６章	
5	教科書	第７章　食品及び公衆衛生	第１節　食品衛生 第２節　公衆衛生	
6	教科書	第７章　食品及び公衆衛生	第３節　食品衛生法	
7	教科書	第８章　安全衛生	第１節　労働災害 ～　　危険有害性 第３節　労働安全衛生に関する法令	
8	教科書 プリント	小テスト	第７章～第８章	
9 ～ 15	教科書 プリント	検定対策問題	第１章～第３章	
16 ～ 20	教科書 プリント	検定対策問題	第４章～第８章	
21	教科書	第４章　食文化	第１節　食文化史と現状の食環境 ～　　食事作法 第３節　西洋料理の移り代わり	
22	教科書	第５章　施設管理	第４節　設備の知識 第５節　防災	
23	教科書	第６章　苦情対応	第１節　料飲サービス 第２節　お客様対応 第６節　遺失物の扱い	
24	教科書 プリント	小テスト	第４章～６章	
25	教科書	第７章　食品及び公衆衛生	第３節　食品衛生 第４節　公衆衛生	
26	教科書	第７章　食品及び公衆衛生	第３節　食品衛生法	
27	教科書	第８章　安全衛生	第１節　労働災害 ～　　危険有害性 第３節　労働安全衛生に関する法令	
28	教科書 プリント	小テスト	第７章～第８章	テスト
29 ～ 33	教科書 プリント	検定対策問題	第１章～第３章	プリ ント

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和7年度 1年生	科　目	授業方法	授業時数
	関係法規・制度	講義	20時間

配当時間	1コマ90分　前期11コマ	担当授業時数	22時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・無	実務経験概要	教職経験28年
学習の目的	美容師法、それに関連する法規を理解する。		
指導目標	法社会の中、スムーズな対応ができるよう法律の基礎を学ぶ、美容師試験の合格意欲を向上させる。		
指導の要点及び留意点	・美容業界に必要な法知識を習得させる。 ・美容師試験に対応する基礎力をつける。		
評価の方法	中間、期末試験、授業における小テスト		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	関係法規・制度	社会生活における法の仕組み	板書を中心に学習内容を確認する。	
2	〃	法の形式	〃	
3	〃	美容師法と附属法令	〃	
4	〃	衛生行政	小テスト実施	
5	〃	美容師法の目的、定義	板書を中心に学習内容を確認する。	
6	〃	美容師に関する規定	〃	
7	〃	美容所に関する規定	〃	
8	〃	立入検査	〃	
9	〃	行政処分 司法処分	プリントにより行政処分の種類を確認する。	
10	〃	罰則	小テスト実施	
11	〃	総まとめ	期末試験対策	

教課指導案(シラバス)

		校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	衛生管理（公衆衛生）	講義	50 時間

配当時間	１コマ 90 分　前期 16 コマ	担当授業時数	32 時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	歯科医師免許・歯科医師経験 36 年

学習の目的	公衆衛生学の総合的な知識を身につけ、国家試験問題に正解できるようにする。
指導目標	美容師として、公衆衛生の維持と増進に責務を担っていることを理解させ、公衆衛生の概要、予防医学と保健、環境衛生の始祖知識を身につけさせる。
指導の要点及び留意点	なるべく復習を繰り返しながら、知識の定着をはかる
評価の方法	毎回の授業中に行う小試験、および定期試験の成績で評価する

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	１編１章 公衆衛生の概要	公衆衛生の意義と課題 公衆衛生の発展の歴史 　欧米の公衆衛生の歩み 　我が国の公衆衛生の歩み	教科書説明 小試験＆国家試験問題演習	
2	〃	公衆衛生の発展の歴史 　消毒法の歴史 理容師・美容師と公衆衛生 保健所と理容業・美容業	〃	
3	１編２章 保健	母子保健	〃	
4	〃	成人・高齢者保健 　死亡率、平均寿命 　生活習慣病	〃	
5	〃	成人・高齢者保健 　健康増進対策 　がん、心臓病	〃	
6	〃	成人・高齢者保健 　脳卒中、糖尿病、喫煙	〃	
7	〃	成人・高齢者保健 　アルコール、身体活動・運動	〃	

		高齢者の保健と福祉		
8	〃	成人・高齢者保健 介護保険制度 精神保健	〃	
9	中間テスト			
10	2編1章 環境衛生	環境衛生の概要 空気環境 空気成分	教科書説明 小試験＆国家試験問題演習	
11	〃	空気環境 空気中に発生する有害物質 温熱環境と健康 温度、湿度、気流、輻射熱	〃	
12	〃	温熱環境と健康 代謝量、着衣量、温熱指標 衣服、住居の衛生 衣服の衛生	〃	
13	〃	衣服と住居の衛生 住居の衛生（採光と照明、換気）	〃	
14	〃	衣服と住居の衛生 住居の衛生（冷暖房） 上下水道と廃棄物 上水道	〃	
15	〃	上下水道と廃棄物 下水道、廃棄物	〃	
16	〃	衛生害虫とネズミ 環境保全	〃	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	衛生管理（管理技術）	講義	50 時間

配当時間	１コマ 90 分　後期 11 コマ	担当授業時数	22 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・　無	実務経験概要	歯科医師免許　歯科医師経験 36 年
学習の目的	卒業後、美容所において法令に基づいた正しい消毒を行えるようになる。		
指導目標	一、美容業務を行う者、受けるもの両者を感染から守ることの重要性を理解している。 二、消毒法や消毒薬の基礎的知識や、関係法令を身につけている。		
指導の要点及び留意点	美容所における衛生管理について化学的根拠に基づいて理解させる。 関係法令を常に念頭に置いて指導する。		
評価の方法	学期末試験（筆記）成績：100 点満点（配点未定） ただし授業態度点として 20 点を上限とし減点する場合がある。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	《4 編》第１章 消毒法総論	消毒とは 消毒の意義	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
2	第１章　消毒法総論	美容業務と消毒との関係	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
3	第１章　消毒法総論	消毒法と適用上の注意	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
4	第１章　消毒法総論	問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
5	第２章 消毒法各論	理学的消毒法	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
6	第１章 消毒法総論	中間テスト	講師作成試験問題による 学習目標達成の確認	
7	第２章 消毒法各論	化学的消毒法	レジュメ及び板書教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
8	第２章 消毒法各論	化学的消毒法	レジュメ及び板書教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
9	第２章 消毒法各論 《5 編》衛生管理の実践例	すぐれた消毒法とその実施上の注意 理容所及び美容所における衛生管理要領、自主管理点検表について	レジュメ及び板書（教科書の本文、図表などの読み込み、まとめ）	
10	第２章 消毒法各論	問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
11	第１章～第２章 まとめ	問題練習	講師作成プリントによる問題練習	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和7年度 2年生	科　目	授業方法	授業時数
	衛生管理（感染症）	講義	40時間

配当時間	1コマ90分　前期　16コマ	担当授業時数	32時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・サロン実務経験7年
学習の目的	美容の業を行うことにより生ずる衛生上（感染症）の危害を防止するだけの知識を学び、美容師免許国家試験の取得をする。		
指導目標	・感染症の歴史や法律上の分類法を理解し、病原微生物の種類や特徴を理解する。 ・免疫や予防接種、感染症発生の要因を理解する ・感染経路や予防対策を理解する。		
指導の要点及び留意点	感染症のポイント及び予防方法、分類などのポイントをおさえ、国家試験の出題傾向をとらえて学習する。		
評価の方法	期末試験で60点以上を合格とする。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書 プリント	感染症の総論 人と感染症、感染症と法律	板書及びプリント パワーポイントなど	
2	教科書 プリント	感染症の歴史 感染症の法律	各単元ごとに練習問題を実施	
3	教科書 プリント	感染症の分類	板書及びプリント パワーポイントなど	
4	教科書 プリント	感染症の分類	各単元ごとに練習問題を実施	
5	教科書 プリント	病原微生物の種類 微生物の構造	板書及びプリント パワーポイントなど	
6	教科書 プリント	微生物の増殖と環境の影響	各単元ごとに練習問題を実施	
7	教科書 プリント	感染症の予防 微生物の病原性と人体の感受性	板書及びプリント パワーポイントなど	
8	教科書 プリント	感染症発生の要因 感染症予防の三原則	各単元ごとに練習問題を実施	
9	教科書 プリント	理容業・美容業と感染症	板書及びプリント パワーポイントなど	
10	教科書 プリント	主な感染症 空気、飛沫を介して感染する感染症	各単元ごとに練習問題を実施	

11	教科書 プリント	飲食物を介して感染する感染症	板書及びプリント パワーポイントなど	
12	教科書 プリント	血液を介して感染する感染症	各単元ごとに練習問題を実施	
13	教科書 プリント	動物・節足動物を介して感染する感染症	板書及びプリント パワーポイントなど	
14	教科書 プリント	標準予防策 ワークブックまとめ	各単元ごとに練習問題を実施	
15	教科書 プリント	ワークブックまとめ	板書及びプリント パワーポイントなど	
16	教科書 プリント	ワークブックまとめ	各単元ごとに練習問題を実施	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	保健（生理解剖）	講義	50 時間

配当時間	１コマ 90 分　前期 11 コマ	担当授業時数	22 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	歯科医師免許　歯科医師経験 36 年
学習の目的	人体の生理解剖学に基づいた、安全で確実な施術を行える美容師となる。		
指導目標	一、美容業務を安全かつ効果的に行うために、生理学、解剖学の知識が不可欠であることを理解する。 二、美容技術の基礎となる人体（特に頭部、顔部、頸部）の構造と機能の知識を身に付ける。		
指導の要点及び留意点	映像（DVD など）の視覚的学習を取り入れ、人体をより身近な実体として理解させる。		
評価の方法	学期末試験（筆記）成績：100 点満点（配点未定） ただし、授業態度点として 20 点を上限とし減点する場合がある。		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	第１章　頭部、顔部、頸部の体表解剖学	頭部、顔部、頸部の部位、名称、基準点などについて	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込み まとめ）	
2	第１章　頭部、顔部、頸部の体表解剖学	頭部、顔部、頸部の部位、名称、基準点などについて 問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
3	第２章　骨格器系	骨の種類、構造、連結、働きについて	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込み	

			まとめ）	
4	第２章　骨格器系	骨の種類、構造、連結、働きについて 問題練習	DVD 鑑賞による視覚的学習 講師作成プリントによる問題練習	
5	第１章～第２章	中間テスト（筆記）	講師作成問題による学習の確認	
6	第３章　筋系	筋の種類、特徴、働きについて	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込み まとめ）	
7	第３章　筋系	筋の種類、特徴、働きについて 問題練習	DVD 鑑賞による視覚的学習 講師作成プリントによる問題練習	
8	第４章　神経系	神経系の成り立ち、中枢神経と末梢神経の働きについて	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込み まとめ）	
9	第４章　神経系	神経系の成り立ち、中枢神経と末梢神経の働きについて 問題練習	講師作成プリントによる問題練習	
10	第５章　感覚器系	視覚、聴覚、平衡感覚について 問題練習	レジュメ及び板書 （教科書の本文、図表などの読み込み まとめ） 講師作成プリントによる問題練習	
11	第１章～第５章	まとめ 問題練習	レジュメ及び板書 講師作成プリントによる問題練習	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 ２年生	科　目	授業方法	授業時数
	保健（皮膚科学）	講義	40 時間

配当時間	１コマ 90 分　前期 11 コマ	担当授業時数	22 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)・　無	実務経験概要	歯科医師免許・歯科医師経験 36 年
学習の目的	皮膚科学の総合的な知識を身につけ、国家試験問題に正解できるようにする		
指導目標	美容師として必要な皮膚科学の基礎と、疾患についての知識を身につけさせる		
指導の要点及び留意点	なるべく復習を繰り返しながら、知識の定着をはかる		
評価の方法	毎回授業中に行う小試験、および定期試験の成績で評価する		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価				
No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	第５章 皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚付属器とホルモン 皮膚の保護と手入れ	教科書説明 小試験＆国家試験問題演習	
2	〃	皮膚の保護と手入れ 爪の保護と手入れ 子供たちのおしゃれによる皮膚トラブル	〃	
3	第６章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類 皮膚疾患の原因 皮膚疾患の治療法	〃	
4	〃	皮膚炎と湿疹・ 蕁麻疹・薬疹	〃	
5	〃	口唇の疾患 温熱・寒冷による皮膚障害 角化異常による皮膚疾患	〃	
6	〃	色素異常による皮膚疾患 血管腫 脂腺母斑	〃	
7	〃	下肢静脈瘤 分泌異常による皮膚疾患	〃	
8	〃	化膿菌による皮膚疾患 ウイルスによる皮膚疾患		
9	〃	真菌による皮膚疾患 衛生害虫による皮膚疾患 感染症の皮膚疾患の予防	〃	
10	〃	毛と爪の疾患 皮膚の腫瘍	〃	
11	第５、６章	総合演習	プリントによる問題演習	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	香粧品化学	講義	40 時間

配当時間	１コマ 90 分　前期 11 コマ・後期 11 コマ	担当授業時数	22 時間
実務経験のある教員科目の有無	有 ・ 無	実務経験概要	小中高理科教員免許（専修）・経験 27 年
学習の目的	国家試験の範囲と出題傾向の把握		
指導目標	教科書の要点をまとめながら実践問題（過去問）に取り組み、国家試験範囲の出題傾向を捉える		
指導の要点及び留意点	各テーマごとにまとめと実際に出題された国家試験の過去問題を解くことで苦手意識をなくすとともに、出題傾向を捉える		
評価の方法	中間試験、期末試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書、学習プリント	第１編　１章　香粧品総論 ２章　香粧品を使用する際に気を付けるべきこと	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
2	教科書、学習プリント	３章　香粧品の成り立ち（水性原料、油性原料）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉る	
3	教科書、学習プリント	３章　香粧品の成り立ち（界面活性剤）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉る	
4	教科書、学習プリント	３章　香粧品の成り立ち（色材、香料）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉る	
5	教科書、学習プリント	３章　香粧品の成り立ち（配合原料）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉る	
6	中間試験			
7	教科書、学習プリント	第２編　１章スキンケア製品（クレンジング用香粧品）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉る	
8	教科書、学習プリント	１章スキンケア製品（コンディショニング用香粧品、サンケア製品） ２章　メイクアップ製品	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉る	
9	教科書、学習プリント	３章　ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品（シャンプー、リンス、トリートメント）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
10	教科書、学習プリント	３章　パーマ剤	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉る	

11	教科書、学習プリント	３章　（パーマ剤）	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉る	
№.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	教科書、学習プリント	３章　（ヘアカラー製品）	まとめプリントを使用しまとめ実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
2	教科書、学習プリント	３章　（ヘアカラー製品）	まとめプリントを使用しまとめ実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
3	教科書、学習プリント	３章　（その他のヘアカラー製品）	まとめプリントを使用しまとめ実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
4	教科書、学習プリント	３章　スキャルプヘア製品	まとめプリントを使用しまとめ実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
5	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	香粧品概論、香粧品原料	まとめプリントを使用しまとめ実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
6	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	界面活性剤、色材	まとめプリントを使用し、まとめ、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
7	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	配合成分	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
8	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	石けん、クリーム、乳液	問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
9	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	シャンプー	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
10	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	パーマ剤	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	
11	教科書、学習プリント（教科書総集編プリント）	カラー剤	総合問題プリントを使用し、実践問題に取り組み出題傾向を捉える	

教課指導案(シラバス)

校長	課長	担当教員

令和７年度 １年生	科　目	授業方法	授業時数
	文化論	講義	40 時間

配当時間	１コマ 90 分　前期 11 コマ　後期 11 コマ	担当授業時数	44 時間
実務経験のある教員科目の有無	(有)　・　無	実務経験概要	美容師免許・実務経験 14 年
学習の目的	歴史の最古から、理美容のかかわりがあって今の美しさが創り上げられている。人がどのような時代背景の中でどのような美しさを求めたのかを知ってほしい。		
指導目標	国内外におけるファッションの変換　用語の理解を深める。 あまり難しく考えず、まずは時系列で時代の変化を楽しんで覚えていってほしい。		
指導の要点及び留意点	主にパワーポイントで授業を行う。重要ポイントをレポートにまとめていく。 レポートのチェックを行ない、テスト点から加点もしくは減点をする。		
評価の方法	中間試験 100 点満点中 60 点以上で合格　レポートの完成度と提出状況で　－10 点～10 点 期末試験 100 点満点中 60 点以上で合格　レポートの完成度と提出状況で　－10 点～10 点		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	文化論	第４章 古代　エジプト	宗教的な意味を持つかつら、髪型、化粧	
2	文化論 資料プリント	古代　ギリシャ・ローマ	一枚の布の造形 男性は短髪、女性は毛染め 命をかけた色白メイク シースルールック	
3	文化論 資料プリント	古代　ゲルマン	裁断・縫製をしたツーピース型の服装	
4	文化論 資料プリント	中世ヨーロッパ 5～15 世紀	エナンとエスコフィオンの流行	
5	文化論 資料プリント		まとめ　確認テスト	
6	文化論	中間試験		
7	文化論	第１章　総論 第２章　日本の理容業･美容業の歴史	理容、美容の語義 化粧の定義と歴史 文化的記号としての髪の毛 理容業の発生 制度に守られた理容業 近代の理容業明治時代～第２次世界大戦 美容業の歴史	
8	文化論 資料プリント	第３章ファッション文化史 （縄文・弥生・古墳時代） 紀元前 7000～592 年	土偶や埴輪からわかるもの	

9	文化論 資料プリント	古代（飛鳥・奈良・平安時代） 592～1086 年 中世（平安・鎌倉・室町・戦国時代） 1086～1575 年	唐風ファッション文化から日本風へ 唐衣裳と垂髪 まとめ　対策プリント	
10	文化論 資料プリント		まとめ　確認テスト	
11	文化論	期末試験		

授業時間と学習内容・実際の学習活動及び評価

No.	教科書教材	学習内容（単元・内容）	学　習　活　動	評価等
1	文化論	近世　（ルネサンス時代） 16 世紀	スペインの影響 コルセット　ファージンゲール イタリアの絹織物と合理的裁断法 ドイツ風幻想的装飾	
2	文化論 資料プリント	近世　（バロック時代） 17 世紀	自然らしさの回復 フランス　モードの確立	
3	文化論 資料プリント	近世　（ロココ時代） 18 世紀	明るい色彩と豊富な装飾	
4	文化論 資料プリント	近代 18 世紀末～19 世紀初め 19 世紀	貴族文化の崩壊 革命期	
5	文化論 資料プリント		まとめ　確認テスト	
6	文化論	中間試験		
7	文化論 資料プリント	近世（戦国時代末期・安土桃山時代） 1574～1603 年	男性の月代の普及 女性の結髪の始まり	
8	文化論 資料プリント	近世　（江戸時代） 1603～1868 年	月代の形	
9	文化論 資料プリント	近世　（江戸時代）	髷の種類おしろい お歯黒の普及	
10	文化論 資料プリント		まとめ　確認テスト	
11	文化論	期末試験		